

令和2年度

教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価  
報告書

台東区教育委員会

# 目 次

---

1 目的及び根拠	3
2 点検及び評価の対象	4
3 点検及び評価の方法	6
4 学識経験を有する者の知見の活用	8
5 点検及び評価の結果	8
施策の目標1 生涯学習の基礎を養う	17
(1)家庭教育の充実	17
①家庭における教育力の向上	17
②家庭教育を支援する体制づくり	18
(2)社会教育の充実	19
①現代的・社会的な課題に対する多様な学習の推進	19
②学びあい、教えあう相互学習の充実	20
(3)家庭・学校・地域の連携	23
①地域との協働による教育の実践	23
施策の目標2 あらゆる世代の多様な学習を振興する	25
(1)乳幼児の学習の場の充実	25
①親子で体験する機会の充実	25
②幼児が学べる場と機会の提供	26
(2)青少年の活動への支援	27
①青少年の学ぶ機会の充実	27
②放課後等の活動支援	29
③異なる世代の交流促進	31
(3)成人の学習支援	32
①大人の学び直し等学習機会の提供	32
②施設等学習環境の充実	34
③障害のある区民の学習環境の整備	34
(4)高齢期の社会活動促進	36
①シニア世代の学習機会の提供	36
③シニアが関わる地域での学習活動の支援	36
(5)多様化する区民の新しいニーズへの対応	37
①学習情報の把握・提供方法の充実	37
②ニーズに対応する学習機会の提供	38

施策の目標3 伝統・文化を継承・発展させる	39
(1)芸術文化の振興	39
①芸術文化に触れる機会の充実	39
②芸術文化情報の発信	40
(3)文化財の保存・活用	41
①地域文化の保存と継承	41
②地域文化の活用と発展	42
施策の目標4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを实践する	44
(2)生涯スポーツ活動の充実	44
①生涯スポーツ社会の実現	44
②スポーツのできる環境の整備	48
③スポーツにより支えあう社会の実現	52
施策の目標5 生涯学習を推進するシステムを確立する	54
(1)生涯学習の場の整備	54
①学習施設の整備・充実	54
②新たな学習課題の把握と学びの体制の充実	56
(2)学習情報の提供・相談システムの充実	57
①学習相談機能の充実	57
②学習情報の提供体制の充実	57
(3)生涯学習推進体制の整備	59
②生涯学習の推進体制の充実	59
施策の目標6 地域力を高める	60
(2)地域課題への取り組みの推進	60
②地域課題解決のための学習支援	60
(3)地域資源の見直し	61
①地域活動の担い手の育成	61
②活動の場の整備・充実	61
(4)自主グループの育成	63
①グループ加入のきっかけづくりとその支援	63
②自主学習グループ相互の交流促進	63
(5)地域活動コーディネート機能の充実	65
②人材の活躍の場の整備	65
6 学識経験者による意見	66
7 参考資料	84
・教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧	
・台東区教育大綱	
・教育目標	

## 1 目的及び根拠

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月からすべての教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

台東区教育委員会では、教育行政をより効果的、効率的に推進するため、平成20年度から主要な施策や事務事業の取り組み状況について点検及び評価を毎年実施しており、令和2年度の点検及び評価の実施結果を報告書にまとめました。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検及び評価の対象

台東区教育委員会では、平成30年度から4年間をかけて、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「生涯学習推進プラン」及び「スポーツ振興基本計画」の3つの計画の内、教育委員会以外の事業を除いた全ての施策及び事業について点検及び評価を行っています。今年度については、「生涯学習推進プラン」を対象に施策の目標及び事業について点検及び評価を行いました。施策の目標については、施策を構成する事業の成果や課題等を踏まえて総合的に点検及び評価を行っています。

点検及び評価を行った88事業は下記の表のとおりです(下記の表は、生涯学習推進プランの施策体系図から教育委員会以外の事業を除いたもの。なお、「NO.」はそれぞれ、台東区生涯学習推進プランの施策の目標－施策の方向－施策－事業番号を表す。再掲事業については、最初の掲載番号を[ ]内に記載している。)

通し 番号	NO. (施策の目標-施 策の方向-施策- 事業番号)	事業名等	掲載 ページ
1	1-(1)-①-1	幼・小・中PTA対象の家庭教育学級	17
2	1-(1)-①-2	保育園対象及び乳幼児家庭教育学級	17
3	1-(1)-①-3	家庭教育情報の提供	18
4	1-(1)-②-4	家庭教育支援者養成	18
5	1-(2)-①-9	社会教育センター・社会教育館の管理運営	19
6	1-(2)-①-10	生涯学習センターの管理運営	19
7	1-(2)-①-11	図書館の活動の推進	20
8	1-(2)-②-16	生涯学習ラーニングスクエア	20
9	1-(2)-②-17	社会教育団体育成支援	21
10	1-(2)-②-18	台東区文化祭	21
11	1-(2)-②-19	文化・スポーツ連合体との連携・支援	22
12	1-(3)-①-21	下町台東の美しい心づくり	23
13	1-(3)-①-22	こども110番の普及	23
14	1-(3)-①-23	学校安全ボランティア	24
15	1-(3)-①-24	PTAの活動支援	24
16	2-(1)-①-25	子供の読書活動の推進	25
17	2-(1)-①-27	生涯学習ラーニングスクエア(親子対象講座)	25
18	2-(1)-②-28	児童館の幼児タイム	26
19	2-(1)-②-31	幼児運動教室	26
20	2-(2)-①-32	知る・作る・学ぶ講座	27
21	2-(2)-①-33	少年少女発明クラブ	27
22	2-(2)-①-34	青少年教育の推進(少年リーダー研修会)	28
23	2-(2)-①-35	ジュニアオーケストラ・ジュニア合唱団	28
24	2-(2)-②-36	生活指導子ども会	29
25	2-(2)-②-37	放課後子ども広場(平成30年度から放課後子供教室に名称変更)	29
26	2-(2)-②-38	児童館	30
27	2-(2)-②-39	こどもクラブ	30
28	2-(2)-③	青少年教育の推進(少年リーダー研修会)[再掲事業 34]	31

通し 番号	NO. (施策の目標-施 策の方向-施策- 事業番号)	事業名等	掲載 ページ
29	2-(3)-①-43	生涯学習ラーニングスクエア(パソコン講座)	32
30	2-(3)-①-44	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座	32
31	2-(3)-①	図書館の活動の推進 [再掲事業 11]	33
32	2-(3)-①-45	郷土資料の記録と整備	33
33	2-(3)-②-50	少年自然の家「霧ヶ峰学園」	34
34	2-(3)-③-51	下谷青年学級	34
35	2-(3)-③-52	視覚障害者図書サービス	35
36	2-(4)-①-55	シニアライフ応援計画	36
37	2-(4)-③-59	いきいき台東っ子応援団	36
38	2-(5)-①-61	生涯学習ガイドブックの発行	37
39	2-(5)-①-62	生涯学習情報紙の発行	37
40	2-(5)-①-63	ICTによる広報活動の充実	38
41	2-(5)-②-65	(仮称)台東区民カレッジの展開	38
42	3-(1)-①-68	台東区美術展	39
43	3-(1)-①-71	文化財講座	39
44	3-(1)-②-75	史跡説明板の整備	40
45	3-(3)-①-86	台東区映像アーカイブ	41
46	3-(3)-①-87	池波正太郎記念文庫	41
47	3-(3)-①	郷土資料の記録と整備 [再掲事業 45]	42
48	3-(3)-②-88	埋蔵文化財普及啓発	42
49	3-(3)-②-89	台東区歴史・文化検定	43
50	3-(3)-②-90	台東区の民話と伝承遊びの普及	43
51	4-(2)-①-100	正しいラジオ体操の指導	44
52	4-(2)-①-101	アスリートから学ぶ Let's Enjoy スポーツ	44
53	4-(2)-①-102	スポーツボランティアを育む	45
54	4-(2)-①-103	総合型地域スポーツクラブ支援	45
55	4-(2)-①-104	台東リバーサイドスポーツセンター 一般開放	46
56	4-(2)-①-105	区民体育祭の開催	46
57	4-(2)-①-106	体育の日記念行事の開催	47
58	4-(2)-①	幼児運動教室 [再掲事業 31]	47
59	4-(2)-②-107	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改築及び 庭球場など周辺環境の整備	48
60	4-(2)-②-108	台東リバーサイドスポーツセンター	48
61	4-(2)-②-109	柳北スポーツプラザ	49
62	4-(2)-②-110	たなかスポーツプラザ	49
63	4-(2)-②-111	清島温水プール・都立浅草高等学校温水プール区民開放	50
64	4-(2)-②-112	区外スポーツ施設	50
65	4-(2)-②-113	スポーツひろば	51
66	4-(2)-③-115	パラリンピック出場予定のアスリートへの支援及び連携	52
67	4-(2)-③-116	障害者スポーツ体験会	52
68	4-(2)-③-117	障害者水泳教室	53
69	5-(1)-①	社会教育センター・社会教育館の管理運営[再掲事業 9]	54
70	5-(1)-①	生涯学習センターの管理運営 [再掲事業 10]	54
71	5-(1)-①	図書館の活動の推進 [再掲事業 11]	55
72	5-(1)-①-118	学校開放	55
73	5-(1)-②-119	生涯学習関連組織とのネットワーク化	56

通し 番号	NO. (施策の目標-施策の方向-施策-事業番号)	事業名等	掲載 ページ
74	5-(1)-②	生涯学習ガイドブックの発行 [再掲事業 61]	56
75	5-(2)-①-120	学習情報コーナーの運営	57
76	5-(2)-②-121	ICTを活用した情報提供の充実	57
77	5-(2)-②-122	ホームページなどを活用した情報発信の拡大	58
78	5-(2)-②	生涯学習情報紙の発行 [再掲事業 62]	58
79	5-(3)-②-125	社会教育委員の会議	59
80	5-(3)-②-126	生涯学習施策庁内推進委員会	59
81	6-(2)-②	図書館の活動の推進[再掲事業 11]	60
82	6-(3)-①-145	学習支援ボランティア	61
83	6-(3)-②-149	たいとうやまびこ塾	61
84	6-(3)-②	(仮称)台東区民カレッジの展開[再掲事業 65]	62
85	6-(4)-①	社会教育団体活動支援[再掲事業 17]	63
86	6-(4)-②	社会教育センター・社会教育館の管理運営[再掲事業 9]	63
87	6-(4)-②	文化・スポーツ連合体との連携・支援[再掲事業 19]	64
88	6-(5)-②	(仮称)台東区民カレッジの展開[再掲事業 65]	65

### 3 点検及び評価の方法

台東区教育委員会では、台東区教育大綱で定めた取り組みを踏まえ、台東区生涯学習推進指針で定めた6つの施策の目標により台東区生涯学習推進プランの実現に向けて各事業に取り組んでいます。

本報告書では、施策及び事業を客観的な基準で採点し、評価するために、教育施策総括シート及び教育事業評価シートを活用しました。

#### (1)教育施策総括シート

教育施策総括シートには、各計画ごとに掲げた施策目標に対して、昨年度の取組結果をまとめました。また、それぞれの施策の評価を一覧としてまとめました。

#### 【施策等一覧の見方】

数値は事業数を表しており、「施策の目標」及び「施策の方向」の段階でそれぞれの評価の事業が何個あるかを表しています。

【施策の目標】		A	B	C	計
施策の方向					
No.	施策				
【施策の目標】 1	生涯学習の基礎を養う	11	4	0	15
	(1)家庭教育の充実	4	0	0	4
1-(1)-①	①家庭における教育力の向上	3	0	0	3
1-(1)-②	②家庭教育を支援する体制づくり	1	0	0	1

NO.は、「施策の目標-(施策の方向)-**施策**」を表しています。

横の計は、各施策に位置付けられている事業数とイコールになります。

(2)教育事業評価シート

教育事業評価シートには、各事業の昨年度の取組結果をまとめました。教育事業評価シートの見方は下記のとおりです。

NO.	①	
施 策		②
事 業 名		③
事業の概要		④
元年度事業評価	目標 (取組内容)	⑤
	事業実績	⑥
	事業の成果	⑦
	事業の課題	⑧
担当課評価	⑨	⑩

⑪【●●課】

【教育事業評価シートの見方】

- ①…施策の目標-施策の方向-施策-事業番号
- ②③…計画の施策体系における位置づけ
- ④…事業の概要
- ⑤…事業の令和元年度の目標及び取組内容
- ⑥…事業の令和元年度の実績
- ⑦…事業の令和元年度の成果
- ⑧…⑥と⑦を受けた事業の課題
- ⑨…以下の評価基準に基づいて担当課ごとに行った評価
- ⑩…⑨のように評価した理由
- ⑪…事業の所管課名

《評価基準》

■計画事業量が「数値化(●回、●%等)」

「A」・・・達成率が100%以上

「B」・・・達成率が50%～100%未満

「C」・・・達成率が50%未満

■計画事業量が「文言表記(推進・実施等)」

「A」・・・取組項目が全て「○」

「B」・・・取組項目全て「○」ではないが、半数以上が「○」

「C」・・・取組項目「○」が半数未満

#### 4 学識経験を有する者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方のご意見をお聞きする機会を設け、様々なご意見、ご助言をいただきました。

##### ■ 学識経験者

氏名	所属等
尾木 和英	東京女子体育大学名誉教授
前田 烈	大智学園高等学校顧問
有村 久春	東京聖栄大学教授

#### 5 点検及び評価の結果

今回行った点検及び評価の結果については、次ページ以降のとおりです。

## 教育施策総括シート

### 【施策の目標】 1 生涯学習の基礎を養う

社会情勢が変化し、生涯学習に対する要望も多様化する中、区民の生活も多様化して、生涯学習を行うための環境も変わることから、新たな対応が求められています。

社会や時代の変化に応じて、「学びたいと思った時に学べる」ようにするためには、一人ひとりがみずからのライフスタイルに応じて、将来に向かって学んでいこうとする気持ちを持つように、家庭、学校、地域など様々な場面で、主体的に生涯学習の基礎を養い、変化する情勢に合わせた取り組みを進めます。

### 施策の目標に対する昨年度の取組結果

#### ○施策の方向1「家庭教育の充実」

「家庭における教育力の向上」及び「家庭教育を支援する体制づくり」については、全ての事業において、計画目標を達成した。今後も、家庭教育に関する講座・情報の提供と育児支援を担う地域人材の育成に取り組んでいく。

#### ○施策の方向2「社会教育の充実」

「現代的・社会的な課題に対する多様な学習の推進」については、2つの事業が目標値に届かなかった。社会教育センター・社会教育館の管理運営及び生涯学習センターの管理運営では、いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値に届かなかったためである。

「学びあい、教えあう相互学習の充実」については、全ての事業で計画目標を達成した。

#### ○施策の方向3「家庭・学校・地域の連携」

「地域との協働による教育の実践」については、2つの事業が目標値に届かなかった。こども110番の普及では、登録軒数の新規申込みによる増加を、登録辞退による減少が上回ったため目標値に達しなかった。学校安全ボランティアでは、1校が未実施だったためであるが、学校安全ボランティアと同様の活動を行っており、児童の登下校時の安全確保は行われている。

## 【施策の目標】2 あらゆる世代の多様な学習を振興する

人は誰でも、生涯にわたる心身の発達とともに人生の各期において習得すべき事柄や社会的な役割があります。また、家庭や社会の場において、よりよい生活を営むための知識や技術を学ぼうとすることがあります。

あらゆる世代が、学ぼうとしたときに多様な学習を進めるため、行政と民間の団体等が連携し、相互に連携・協力することで「学ぶ」内容を強化したり、相乗効果でより多様で効果的な「学び」を作り出せるよう、学習の機会や場を充実していきます。

### 施策の目標に対する昨年度の実績結果

#### ○施策の方向1 「乳幼児の学習の場の充実」

「親子で体験する機会の充実」については、いずれの事業も目標値に届かなかった。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止として講座等を中止したためである。

「幼児が学べる場と機会の提供」については、全ての事業において計画目標を達成した。

#### ○施策の方向2 「青少年の活動への支援」

「青少年の学ぶ機会の充実」、「放課後等の活動支援」及び「異なる世代の交流促進」については、全ての事業において、計画目標を達成した。今後も、青少年向けプログラムの充実や放課後の活動支援等を図っていく。

#### ○施策の方向3 「成人の学習支援」

「大人の学び直し等学習機会の提供」については、2つの事業が目標値に届かなかった。これは、生涯学習ラーニングスクエア（パソコン講座）では、講座内容の見直しを図ったためである。また、郷土資料の記録と整備では、新型コロナウイルス感染症拡大防止として令和2年2月から資料室を閉室したためである。

「施設等学習環境の充実」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止として少年自然の家「霧ヶ峰学園」を休館したため、利用延人数が目標値に届かなかった。

「障害のある区民の学習環境の整備」については、1つの事業が目標値に届かなかった。下谷青年学級で、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標の年間活動回数に達しなかったためである。

#### ○施策の方向4 「高齢期の社会活動促進」

「シニア世代の学習機会の提供」及び「シニアが関わる地域での学習活動の支援」については、全ての事業で計画目標を達成した。

#### ○施策の方向5 「多様化する区民の新しいニーズへの対応」

「学習情報の把握・提供方法の充実」及び「ニーズに対応する学習機会の提供」については、全ての事業で計画目標を達成した。

### 【施策の目標】3 伝統・文化を継承・発展させる

台東区には、数多くの歴史的施設や文化施設、伝統的な芸能などが集積し、日々の生活の中で、区民が身近に文化的・創造的活動に触れることのできる素晴らしい環境を備えています。

産業面においても伝統的な手法による工芸品を作り続ける多くの職人やファッション雑貨の製造業が存在しています。

また、区内には、現在も多くの文化財が残され、国立西洋美術館が世界遺産に登録されています。

これらの台東区を持つ貴重な伝統・文化を継承・発展させていくため、学びの場や機会の提供に取り組みます。

#### 施策の目標に対する昨年度の実績結果

##### ○施策の方向1「芸術文化の振興」

「芸術文化に触れる機会の充実」及び「芸術文化情報の発信」については、全ての事業において、計画目標を達成した。今後も、芸術文化に触れる機会の充実や文化情報の発信に取り組んでいく。

##### ○施策の方向3「文化財の保存・活用」

「地域文化の保存と継承」については、2つの事業が目標値に届かなかった。台東区映像アーカイブでは、公開DVDの貸出数が目標値に届かなかった。これは、新規の公開作品を制作できなかったことや、インターネットを通じて映像作品を視聴する傾向があるためである。郷土資料の記録と整備では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月から資料室を閉室したことにより、利用件数が目標値に届かなかったためである。

「地域文化の活用と発展」については、全ての事業において、計画目標を達成した。

#### 【施策の目標】 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを实践する

住み慣れた地域でいきいきと自分らしく健康に暮らしていくためには、一人ひとりが心身の安定の大切さを自覚するとともに、栄養・運動に配慮した生活習慣の実践が求められます。

同時に、生涯の健康づくりのためにも、個人や家族だけではなく地域の力もより重要になっており、個人と家族と地域がともに支え合う安全で快適な生活環境の整備を進めることが求められています。

そのため、生涯学習の学ぶ内容についても、健康や健康的な生活にかかる学びを進めていきます。

また、オリンピック・パラリンピック東京大会を契機にスポーツに対する関心を高めるため、生涯スポーツ活動の充実に向けた取り組みを一層進めていきます。

#### 施策の目標に対する昨年度の取組結果

##### ○施策の方向2 「生涯スポーツ活動の充実」

「生涯スポーツ社会の実現」については、3つの事業が目標に達しなかった。3つの事業のうち、台東リバーサイドスポーツセンター一般開放及び区民体育祭の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の一環としてイベント等を中止したためである。体育の日記念行事の開催については、荒天により参加者数が目標を下回ったためである。

「スポーツのできる環境の整備」については、4つの事業が目標に達しなかった。4つの事業のうち、台東リバーサイドスポーツセンター、柳北スポーツプラザ及びスポーツひろばについては、新型コロナウイルス感染症等の影響により施設の閉館等を行ったため、目標値に達しなかった。区外スポーツ施設については、台風被害の影響で利用できない日が多くあったためである。

「スポーツにより支えあう社会の実現」については、全ての事業において、計画目標を達成した。

## 【施策の目標】 5 生涯学習を推進するシステムを確立する

ますます多様化し情報化の進む現代社会においては、生涯学習に関する情報入手もインターネットが利用されています。

インターネットなどを利用して情報がどこでもすぐに取り出せるだけでなく、生涯学習を行う上で、個人や団体の連携や、学習する場として多様な学習に対応する取り組みを進めます。

### 施策の目標に対する昨年度の実績結果

#### ○施策の方向1「生涯学習の場の整備」

「学習施設の整備・充実」については、3つの事業において目標値に届かなかった。学校開放、社会教育センター・社会教育館の管理運営及び生涯学習センターの管理運営では、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値に届かなかった。

「新たな学習課題の把握と学びの体制の充実」については、全ての事業において、計画目標を達成した。

#### ○施策の方向2「学習情報の提供・相談システムの充実」

「学習相談機能の充実」及び「学習情報の提供体制の充実」については、全ての事業において、計画目標を達成した。

#### ○施策の方向3「生涯学習推進体制の整備」

生涯学習の推進体制の充実については、1つの事業が目標に届かなかった。生涯学習施策庁内推進委員会では、生涯学習関係課での情報共有、情報交換により、事業の適切な運営が行えているが、庁内推進委員会を実施しなかったためである。

## 【施策の目標】 6 地域力を高める

生涯にわたる学習活動は、区民にとって学ぶことや活動することの楽しさ、喜びを感じることができる機会です。さらに、家族や仲間と学ぶことの楽しさを共有することによって家庭や職場、地域をいきいきと活気あふれるものにするきっかけになっていきます。

また、様々な学習活動によって、一人ひとりがそれぞれの能力や可能性を高めることで、地域の課題の解決を図ることもあります。

学ぶことで、個人の能力と可能性を開花させ、地域課題の解決を実現することで、活力のあふれる持続可能な社会としていくことを目指します。

### 施策の目標に対する昨年度の実績結果

#### ○施策の方向2 「地域課題への取り組みの推進」

「地域課題解決のための学習支援」については、全ての事業において、計画目標を達成した。

#### ○施策の方向3 「地域資源の見直し」

「地域活動の担い手の育成」については、全ての事業において、計画目標を達成した。

「活動の場の整備・充実」については、1つの事業が目標値に届かなかった。これは、たいとうやまびこ塾で、新型コロナウイルス感染症拡大防止としての講座の一部を中止したためである。

#### ○施策の方向4 「自主グループの育成」

「グループ加入のきっかけづくりとその支援」については、全ての事業において、計画目標を達成した。

「自主学习グループ相互の交流促進」については、1つの事業で目標値に届かなかった。社会教育センター・社会教育館の管理運営では、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値に届かなかったためである。

施策等一覧

施策の目標		A	B	C	計
施策の方向					
No.	施策				
【施策の目標】 1 生涯学習の基礎を養う		11	4	0	15
(1) 家庭教育の充実		4	0	0	4
1-(1)-①	①家庭における教育力の向上	3	0	0	3
1-(1)-②	②家庭教育を支援する体制づくり	1	0	0	1
(2) 社会教育の充実		5	2	0	7
1-(2)-①	①現代的・社会的な課題に対する多様な学習の推進	1	2	0	3
1-(2)-②	②学びあい、教えあう相互学習の充実	4	0	0	4
(3) 家庭・学校・地域の連携		2	2	0	4
1-(3)-①	①地域との協働による教育の実践	2	2	0	4
【施策の目標】 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する		20	6	0	26
(1) 乳幼児の学習の場の充実		2	2	0	4
2-(1)-①	①親子で体験する機会の充実	0	2	0	2
2-(1)-②	②乳幼児が学べる場と機会の提供	2	0	0	2
(2) 青少年の活動への支援		9	0	0	9
2-(2)-①	①青少年の学ぶ機会の充実	4	0	0	4
2-(2)-②	②放課後等の活動支援	4	0	0	4
2-(2)-③	③異なる世代の交流促進	1	0	0	1
(3) 成人の学習支援		3	4	0	7
2-(3)-①	①大人の学び直し等学習機会の提供	2	2	0	4
2-(3)-②	②施設等学習環境の充実	0	1	0	1
2-(3)-③	③障害のある区民の学習環境の整備	1	1	0	2
(4) 高齢期の社会活動促進		2	0	0	2
2-(4)-①	①シニア世代の学習機会の提供	1	0	0	1
2-(4)-③	③シニアが関わる地域での学習活動の支援	1	0	0	1
(5) 多様化する区民の新しいニーズへの対応		4	0	0	4
2-(5)-①	①学習情報の把握・提供方法の充実	3	0	0	3
2-(5)-②	②ニーズに対応する学習機会の提供	1	0	0	1
【施策の目標】 3 伝統・文化を継承・発展させる		7	2	0	9
(1) 芸術文化の振興		3	0	0	3
3-(1)-①	①芸術文化に触れる機会の充実	2	0	0	2
3-(1)-②	②芸術文化情報の発信	1	0	0	1
(3) 文化財の保存・活用		4	2	0	6
3-(3)-①	①地域文化の保存と継承	1	2	0	3
3-(3)-②	②地域文化の活用と発展	3	0	0	3

施策の目標		A	B	C	計
施策の方向					
No.	施策				
【施策の目標】 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する		11	6	1	18
(2) 生涯スポーツ活動の充実		11	6	1	18
4-(2)-①	①生涯スポーツ社会の実現	5	3	0	8
4-(2)-②	②スポーツのできる環境の整備	3	3	1	7
4-(2)-③	③スポーツにより支えあう社会の実現	3	0	0	3
【施策の目標】 5 生涯学習を推進するシステムを確立する		8	4	0	12
(1) 生涯学習の場の整備		3	3	0	6
5-(1)-①	①学習施設の整備・充実	1	3	0	4
5-(1)-②	②新たな学習課題の把握と学びの体制の充実	2	0	0	2
(2) 学習情報の提供・相談システムの充実		4	0	0	4
5-(2)-①	①学習相談機能の充実	1	0	0	1
5-(2)-②	②学習情報の提供体制の充実	3	0	0	3
(3) 生涯学習推進体制の整備		1	1	0	2
5-(3)-②	②生涯学習の推進体制の充実	1	1	0	2
【施策の目標】 6 地域力を高める		6	2	0	8
(2) 地域課題への取り組みの推進		1	0	0	1
6-(2)-②	②地域課題解決のための学習支援	1	0	0	1
(3) 地域資源の見直し		2	1	0	3
6-(3)-①	①地域活動の担い手の育成	1	0	0	1
6-(3)-②	②活動の場の整備・充実	1	1	0	2
(4) 自主グループの育成		2	1	0	3
6-(4)-①	①グループ加入のきっかけづくりとその支援	1	0	0	1
6-(4)-②	②自主学习グループ相互の交流促進	1	1	0	2
(5) 地域活動コーディネート機能の充実		1	0	0	1
6-(5)-②	②人材の活躍の場の整備	1	0	0	1
合 計		63	24	1	88

《評価基準》

■計画事業量が「数値化（●回、●%等）」  
「A」・・・達成率が100%以上  
「B」・・・達成率が50%～100%未満  
「C」・・・達成率が50%未満

■計画事業量が「文言表記（推進・実施等）」  
「A」・・・取組項目が全て「○」  
「B」・・・取組項目全て「○」ではないが、半数以上が「○」  
「C」・・・取組項目「○」が半数未満

## 【施策の目標1 生涯学習の基礎を養う】

## 【(1) 家庭教育の充実】

NO.	1-(1)-①-1	
施 策	①家庭における教育力の向上	
事 業 名	1 幼・小・中PTA対象の家庭教育学級	
事業の概要	幼稚園・こども園、小学校、中学校の保護者を対象に家庭教育学級を実施する。PTAが企画・運営することで、地域特性をふまえた課題の解決や、より多くの親が参加できるように、開催日を工夫するなど機会の充実に努める。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	幼稚園、こども園から中学校までの保護者対象の家庭教育学級の充実に努める。
	事業実績	学校・園41会場 2,618人
	事業の成果	PTAが企画・運営することで、保護者のニーズに合った学級を実施することができた。
	事業の課題	より多くの保護者が家庭教育に関心を持ち、参加ができる工夫が必要である。
担当課評価	A	幼稚園・こども園、小学校、中学校の各PTAが、保護者のニーズや子供の発達に応じて、満足度の高い学級を実施できたため。

【生涯学習課】

NO.	1-(1)-①-2	
施 策	① 家庭における教育力の向上	
事 業 名	2 保育園対象及び乳幼児家庭教育学級	
事業の概要	0～3歳児の親を対象に、地域で子育て支援活動を行っている団体など、地域の教育力を活用した乳幼児家庭教育学級を実施する。また、保育園などに通う子供の保護者を対象とした家庭教育学級を開催し、PTAの家庭教育学級とあわせて切れ目のない支援を目指す。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	乳幼児及び保育園の保護者対象の家庭教育学級の充実に努める。
	事業実績	乳幼児家庭教育学級 4団体 182組 保育園対象家庭教育学級 1会場 120人
	事業の成果	乳幼児家庭教育学級では、保護者同士が身近な地域の中で学習しながら交流を深めることができる機会を提供することができた。保育園対象家庭教育学級は、土日に開催し、働いている保護者の参加を促すことができた。
	事業の課題	保護者に多様な学習機会を提供するため、地域で子育て支援活動を行っている様々な団体に、本事業について関心を持っていただく工夫・支援が必要である。
担当課評価	A	地域の子育て支援活動を行っている団体に運営を委託することで、団体の特性を活かした幅広い学習の機会を提供できたため。また、保育園対象家庭教育学級では、働いている保護者向けに効果的な講座を実施することができたため。

【生涯学習課】

## 【施策の目標1 生涯学習の基礎を養う】

## 【(1) 家庭教育の充実】

N0.	1-(1)-①-3	
施 策	①家庭における教育力の向上	
事 業 名	3 家庭教育情報の提供	
事業の概要	家庭教育学級などに参加できない保護者や、地域での子育て支援に資するために、家庭教育に関する情報について、台東区の公式ホームページなどの様々な媒体を活用し提供する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	講座情報のホームページでの周知、子育てメールマガジン等の活用を行う。
	事業実績	講座情報をホームページや子育てメールマガジン等で周知し、ケーブルテレビ番組を運営研修会で視聴するなどの活用を行った。
	事業の成果	ホームページ、子育てメールマガジン、ケーブルテレビ番組を活用し、家庭教育情報の提供ができた。
	事業の課題	講座情報の提供に加えて、家庭教育の向上に資する幅広い情報を提供していく必要がある。
担当課評価	A	家庭教育力の向上に資する情報を発信することができたため。

【生涯学習課】

N0.	1-(1)-②-4	
施 策	②家庭教育を支援する体制づくり	
事 業 名	4 家庭教育支援者養成	
事業の概要	家庭教育充実の視点から、地域において、育児相談や育児に関わる事業の情報提供などを行う家庭教育支援者の養成講座を実施し、多方面から育児支援を担う地域人材を養成し、親が孤立することの解消や地域で子育てする環境を醸成する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	家庭教育支援者の養成講座を実施する。
	事業実績	下記のとおり家庭教育支援者の養成講座を実施 家庭教育支援者養成講座(入門編) 6日間 延53人 家庭教育支援者養成講座(ステップアップ編) 2日間(3講座) 延177人
	事業の成果	家庭教育支援者養成講座の修了生が、子育て中の保護者を支援するための活動を多方面で行っており、地域で子育てする体制づくりを進めることができた。
	事業の課題	家庭教育支援者養成講座で学んだ支援者を地域で活躍できる場や機会へとつなげていく必要がある。
担当課評価	A	家庭教育支援者養成講座をとおり、支援者として必要な知識や技術を提供することができたため。

【生涯学習課】

## 【施策の目標1 生涯学習の基礎を養う】

## 【(2) 社会教育の充実】

N0.	1-(2)-①-9	
施 策	①現代的・社会的な課題に対する多様な学習の推進	
事 業 名	9 社会教育センター・社会教育館の管理運営	
事業の概要	<p>区内の社会教育団体などに学習の場所を提供し、その学習活動・組織活動を支援する。また、生涯学習ラーニングスクエア、親と子の教室など様々な講座を開設し、自主グループの結成、区民の生涯学習・文化教養の向上に寄与する。</p> <p>また、施設を効果的に活用できるような改修を計画的に実施する。</p>	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	より多くの区民の学習活動・組織活動を支援し、様々な講座を開設することで生涯学習に寄与する。 利用者数 130,000人
	事業実績	利用者数 118,416人
	事業の成果	新型コロナウイルス感染防止のため、利用者数は前年度を下回ったが、社会教育センターの照明のLED化により、環境改善を図った。
	事業の課題	施設の老朽化に伴う、計画的な改修が必要である。また、ソーシャルディスタンスに留意しながら貸出しを行いつつも、利用者数の確保に努める必要がある。
担当課評価	B	社会教育センターの照明のLED化により環境改善を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値を下回ったため。

【生涯学習課】

N0.	1-(2)-①-10	
施 策	①現代的・社会的な課題に対する多様な学習の推進	
事 業 名	10 生涯学習センターの管理運営	
事業の概要	<p>ミレニアムホールや研修室・会議室などの施設を社会教育団体などに貸出すことで学習の場所を提供し、区民が地域活動や学習活動に参加できる環境をつくる。</p>	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	区民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、生涯学習環境を整備する。 利用者数 360,000人
	事業実績	利用者数 355,603人
	事業の成果	新型コロナウイルス感染防止のため、個人利用の休止や団体利用の自粛を要請したことにより、利用者数は目標値を下回った。
	事業の課題	ソーシャルディスタンスに留意しながら貸出しを行いつつも、利用者数の確保に努める必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値を下回ったため。

【生涯学習課】

【施策の目標1 生涯学習の基礎を養う】

【(2) 社会教育の充実】

NO.	1-(2)-①-11	
施 策	①現代的・社会的な課題に対する多様な学習の推進	
事 業 名	11 図書館の活動の推進	
事業の概要	区民の文化的教養を高め、調査研究や課題解決を支援するとともに生涯を通じて学ぼうとする区民に必要とする資料や情報を収集・提供し、身近な情報拠点として区民の暮らしに寄与する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	台東区立図書館取組方針に基づき、生涯学習に寄与する資料の収集を進める。
	事業実績	所蔵数 665,566点(令和2年3月31日現在)
	事業の成果	区民ニーズに応えつつ、レファレンス資料や外国人向け資料などの収集・充実を図ったため、身近な情報拠点としての役割を果たすことができた。
	事業の課題	実用書などの最新の情報の提供が必要な既存資料は、区民の学習意欲に応えるため適切な情報更新が必要である。
担当課評価	A	情報更新のための除籍を進めているため、所蔵数は減少傾向にあるが、外国人向け資料などの資料の充実やパスマインダーによるビジネス資料の案内など情報提供方法の充実を図ったため。

【中央図書館】

NO.	1-(2)-②-16	
施 策	②学びあい、教えあう相互学習の充実	
事 業 名	16 生涯学習ラーニングスクエア	
事業の概要	各種の学習機会を提供し、学習意欲の向上を図り、グループ化を進めるとともに社会教育関係団体の協力を得ることにより地域の教育力の向上を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり生活技術、伝統文化、音楽等の生涯学習の動機付けの機会となる講座を実施する。 53講座
	事業実績	下記のとおり講座を実施 実施講座数 56講座 (延受講者数 4,593名) (延日数 364日)
	事業の成果	講座の実施により、生涯学習の機会や充実した学びを提供できた。また、終了後に自主サークルが誕生する講座もあり、学びを通じた交流が図られた。
	事業の課題	より多くの区民が学習に取り組むきっかけとなるよう、社会教育関係団体の協力を得ながら講座内容を更に充実させる必要がある。
担当課評価	A	地域の教育力を活用し、生涯学習のきっかけをつかむことのできる多様な講座を実施しているため。

【生涯学習課】

【施策の目標1 生涯学習の基礎を養う】  
【(2) 社会教育の充実】

N0.	1-(2)-②-17	
施 策	②学びあい、教えあう相互学習の充実	
事 業 名	17 社会教育団体育成支援	
事業の概要	グループ学習などの団体活動を、円滑に進めるための支援を行う。団体の組織的、継続的な活動を支援することで、地域活動の活性化につながることを目的とする。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり社会教育団体の活動を支援する。 社会教育関係団体登録、相談受付、入会希望者への情報提供
	事業実績	下記のとおり社会教育団体の活動を支援 社会教育関係団体（登録数836団体）、相談受付、入会希望者への情報提供
	事業の成果	団体登録、団体からの個別相談等により社会教育関係団体の円滑な活動につなげることができた。
	事業の課題	団体構成員の年齢層が高くなっており、各団体が今後も継続的に円滑な活動を進められるよう、相談対応や団体PRにおいてより丁寧な支援が必要となる。
担当課評価	A	団体活動を円滑に進めるための支援を実施しているため。

【生涯学習課】

N0.	1-(2)-②-18	
施 策	②学びあい、教えあう相互学習の充実	
事 業 名	18 台東区文化祭	
事業の概要	区民の文化や体育の向上・発展に寄与する機会として、「文化の日」を中心に、社会教育活動団体の日頃の学習成果を、展示や舞台公演などを通じて広く区民に発表する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	社会教育団体協議会加盟19団体の各種作品の展示、舞台発表及び茶席、式典を実施する。
	事業実績	下記のとおり実施 展示の部 15日間 舞台の部及び茶席の部式典 各1日 入場者数 延8,996人
	事業の成果	19団体が合同で発表の場を設けることにより、各団体の活動の活性化に繋がるとともに、多くの区民に鑑賞してもらった機会とすることができた。
	事業の課題	各団体を通じた周知の充実など、更なる入場者の増加に向けた取り組みが必要である。
担当課評価	A	社会教育団体の活動成果を共有し、団体同士や区民との交流を図ることができたため。

【生涯学習課】

【施策の目標1 生涯学習の基礎を養う】  
【(2) 社会教育の充実】

N0.	1-(2)-②-19	
施 策	②学びあい、教えあう相互学習の充実	
事 業 名	19 文化・スポーツ連合体との連携・支援	
事業の概要	社会教育団体協議会の研修会や文化祭実行委員会など社会教育団体連合体の活動を通じて、区民が学びあう場の充実が図れる支援をする。その中で、団体間の活動に関する情報交換やイベントの周知なども行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	社会教育団体協議会の加盟団体を対象に、文化祭実行委員会などの開催を支援する。
	事業実績	下記のとおり実施 文化祭実行委員会 4回
	事業の成果	文化祭実行委員会の実施により、団体間の協力・連携が図られ、情報の発信や共有にも寄与した。
	事業の課題	活動を支援しながらも、連合体としての自主性、自立性を引き出すような取り組みも進める必要がある。
担当課評価	A	文化祭実行委員会の開催を支援することができたため。

【生涯学習課、スポーツ振興課】

## 【施策の目標 1 生涯学習の基礎を養う】

## 【(3) 家庭・学校・地域の連携】

NO.	1-(3)-①-21	
施 策	①地域との協働による教育の実践	
事 業 名	21 下町台東の美しい心づくり	
事業の概要	台東区の子供たちの豊かな心を育むため、家庭・地域・学校・関連機関などが連携し、区民の心の教育に関する意識を高める活動を推進する。区内の11地区で「あいさつ運動」などを通じて、心の教育につながる活動に取り組む。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	「美しい心づくり推進方針」に基づき、家庭・地域・学校・関係機関等が一体となって、子供の豊かな心を育む「美しい心づくり」に取り組む。
	事業実績	学習会及び啓発物品による啓発活動を実施
	事業の成果	区内全地区において啓発を実施することができた。
	事業の課題	地区により取り組みの差が見られるため、必要に応じて関係機関の活動を喚起、後押しすることが必要である。
担当課評価	A	区内全地区で実施することができたため。

【生涯学習課】

NO.	1-(3)-①-22	
施 策	①地域との協働による教育の実践	
事 業 名	22 こども110番の普及	
事業の概要	青少年の健全育成の基本となる安全対策について、PTAや関連団体などの協力により連携を図りながら緊急避難場所である「こども110番」を地域に設置し、通学路などにおける子どもたちの安全安心の向上を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり実施する。 1, 800軒(こども110番登録軒数)
	事業実績	下記のとおり実施 1, 448軒(令和2年3月31日時点)
	事業の成果	子供たちの緊急避難場所を確保することで、子どもたちの安全安心の向上に資することができた。
	事業の課題	高齢を理由とした辞退者が多く、流入人口もマンションなど、子供が逃げ込むことが出来ない建物に集中しており、個人宅での新規協力者を得辛いため、事業所等に向けた周知についても検討する必要がある。
担当課評価	B	新規申込みによる登録軒数の増を、登録辞退による減が上回り、当初目標を達成できなかったため。

【学務課】

## 【施策の目標1 生涯学習の基礎を養う】

## 【(3) 家庭・学校・地域の連携】

N0.	1-(3)-①-23	
施 策	①地域との協働による教育の実践	
事 業 名	23 学校安全ボランティア	
事業の概要	各小学校単位で、保護者と町会などの地域団体が協力して児童の登下校における通学路の安全確保を図る見守りやパトロールなどを実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	全ての小学校で学校安全ボランティア事業を実施する。
	事業実績	学校安全ボランティア事業を全19校のうち、18校で実施
	事業の成果	学校安全ボランティア事業を実施することによって未然に交通事故等を防ぎ、児童の登下校時の安全を確保することができた。
	事業の課題	子供の安全確保を図る学校安全ボランティア事業への登録を促進する。
担当課評価	B	残りの1校も学校安全ボランティア事業と同様の活動を行っており、児童の登下校時の安全確保は行われている。

【庶務課】

N0.	1-(3)-①-24	
施 策	①地域との協働による教育の実践	
事 業 名	24 P T Aの活動支援	
事業の概要	P T A組織の理解と運営方法、広報活動について必要な知識、考え方などについて学ぶ機会を設け、P T A活動が充実、活性化するよう支援する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	幼稚園、区立小学校・中学校・こども園のP T Aを対象とした研修会を実施する。
	事業実績	下記のとおり実施 運営研修会 3回 広報研修会 1回
	事業の成果	P T A指導者研修会において、参加者へのP T A活動における必要な知識の習得及び他校園との情報交換の機会を設け、活動の支援を行った。
	事業の課題	日頃のP T A活動に活かされる研修会となるよう、引き続き研修内容を工夫していく必要がある。
担当課評価	A	P T A活動の充実、活性化につながる研修会を実施しているため。

【生涯学習課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(1) 乳幼児の学習の場の充実】

N0.	2-(1)-①-25	
施 策	①親子で体験する機会の充実	
事 業 名	25 子供の読書活動の推進	
事業の概要	子供用図書の収集・貸出、学校への団体貸出しをはじめ「あかちゃんえほんタイム」「おはなし会」「人形劇」「映画会」などの様々な事業を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり実施する。 おはなし会等行事回数 315回
	事業実績	下記のとおり実施 おはなし会等行事回数 288回
	事業の成果	計画的に各事業や啓発等を実施し、児童関連図書の貸出冊数、0～15歳の図書館利用登録者数は増加傾向となり、子供の読書活動の推進を図ることができた。
	事業の課題	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集客してのイベント開催の機会が減少しているが、引き続き子供が本と親しむきっかけづくりを様々な形で展開していく必要がある。
担当課評価	B	計画的に事業を実施していたが、新型コロナウイルスの影響で令和2年2月からイベントを中止したことにより、行事回数が目標数値には至らなかったため。

【中央図書館】

N0.	2-(1)-①-27	
施 策	①親子で体験する機会の充実	
事 業 名	27 生涯学習ラーニングスクエア（親子対象講座）	
事業の概要	親と子が共に学習に取り組むことにより、コミュニケーションを一層深め、さらに潜在している子供の能力に親が気づき、今後の発展に結びつけていくことを目的として、様々な親子対象の講座を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり実施する。 5講座（親と子が同じ学習に取り組むことにより、子供の潜在能力の開発に役立つ講座を実施）
	事業実績	下記のとおり実施 4講座（延受講者数：144名 延日数：15日）
	事業の成果	親子対象講座を実施し、親子のコミュニケーションを深めながら、学びを得る機会を提供することができた。
	事業の課題	区が提供している他の親子対象講座との差別化が必要である
担当課評価	B	各講座で工夫した親子体験講座を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため1講座を中止としたため。

【生涯学習課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(1) 乳幼児の学習の場の充実】

N0.	2-(1)-②-28	
施 策	②幼児が学べる場と機会の提供	
事 業 名	28 児童館の幼児タイム	
事業の概要	乳幼児と保護者を対象に、親子で楽しめる遊びや季節の行事を行う。また、子育て世代の育児の情報交換や友達づくりを促進し、地域ぐるみの子育て支援を行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり幼児タイムを実施する。 全8児童館
	事業実績	下記のとおり幼児タイムを実施 全8児童館 活動回数 年785回(出張幼児タイム160回を含む) 参加者数 22,781人(出張幼児タイム4,640人を含む)
	事業の成果	親子が共に遊び、交流し、情報交換をすることで、子育ての不安や負担の軽減に寄与した。
	事業の課題	児童館が近くにない場所で出張幼児タイムを実施しているが、場所の確保という観点から実施が難しい地域もある。
担当課評価	A	全8児童館で幼児タイムを実施したため。

【児童保育課(放課後対策担当)】

N0.	2-(1)-②-31	
施 策	②幼児が学べる場と機会の提供	
事 業 名	31 幼児運動教室	
事業の概要	幼児の健やかな心と体作りのため、成長が著しい幼児を対象に、その特性に合わせた様々な身体の動かし方を学ぶ運動教室を実施し、幼児が身体を動かす習慣を作る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり幼児運動教室を実施する。 開催場所 3箇所
	事業実績	下記のとおり幼児運動教室を実施 開催場所 3箇所
	事業の成果	各教室とも定員を上回る申込があり、区民ニーズが非常に高い。今後も生涯スポーツ社会の実現に向けて、子供の体力向上につながる本事業を引き続き実施していく。
	事業の課題	事業へのニーズが非常に高く、台東リバーサイドスポーツセンターで実施している教室への申し込みは定員を大幅に超えている。
担当課評価	A	教室参加者は増加傾向にあり、多くの就学前の児童に対し、多様な運動を経験できる機会を設けているため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(2) 青少年の活動への支援】

NO.	2-(2)-①-32	
施 策	①青少年の学ぶ機会の充実	
事 業 名	32 知る・作る・学ぶ講座	
事業の概要	児童・生徒の休日(主に土曜日)の学習を支援するため、教職員や地域協力者と協力し、学校の日常では時間をかけて学べない内容について学習し、興味・関心、学習意欲の向上を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	体験的・実践的な国語、算数・数学、科学、歴史文化の各講座を実施することで、自ら学習し、考え、判断する力を育てる。
	事業実績	5講座を実施。各講座で年間15～31日実施。全講座で延べ1,826人受講。
	事業の成果	学校の授業では学べない体験的・実践的な講座であるため、児童・生徒に高い興味と関心が得られている。
	事業の課題	新規受講者やリピーターを増やすために、各講座内容の工夫が必要である。
担当課評価	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉講式を中止したが、予定のカリキュラムは実施できたため。

【生涯学習課】

NO.	2-(2)-①-33	
施 策	①青少年の学ぶ機会の充実	
事 業 名	33 少年少女発明クラブ	
事業の概要	児童生徒の科学的興味や関心を追求する場を提供し、異年齢の集団の中で創意工夫する創作活動を通じて、完成する喜びなどを体験することで創造性豊かな育成を支援する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり実施する。 土曜日コース、日曜日コースの2コース。各コース定員48人。
	事業実績	下記のとおり実施 2コース合計で年間43日開催。参加者延べ1,490人
	事業の成果	ものづくりの基礎の習得から個々の発想に基づいた作品づくりまでに対応し、各種コンクールへの応募やクラブ作品展での発表ができた。
	事業の課題	高齢化等により指導員が減少しており、活動の安全性の維持や指導内容の充実のため、さらなる指導員の確保が必要である。
担当課評価	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉講式を中止したが、予定のカリキュラムは実施できたため。

【生涯学習課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(2) 青少年の活動への支援】

N0.	2-(2)-①-34	
施 策	①青少年の学ぶ機会の充実	
事 業 名	34 青少年教育の推進（少年リーダー研修会）	
事業の概要	青少年が異年齢集団において自主性・社会性・創造性を身につけ、地域の青少年活動などの集団でリーダーシップを発揮できるように、少年リーダー研修会を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	グループ活動の大切さや楽しさを学ぶ研修会を実施する。
	事業実績	下記のとおり実施 研修生 小学校4年生～高校生年代 165名 研修会 延55日
	事業の成果	定例研修会や宿泊研修会を通し、集団活動における望ましい態度や技術を身につけることができた。
	事業の課題	区内全域から年齢も学校も異なる、より多くの研修生が集うための工夫が必要である。また今後も継続して研修会を実施していくためにも、指導を担う地域の方々、及び学校との連携が必要となる。
担当課評価	A	年代を超えてのグループ活動は貴重な体験であり、研修生や保護者からも事業に対する評価が高いため。

【生涯学習課】

N0.	2-(2)-①-35	
施 策	①青少年の学ぶ機会の充実	
事 業 名	35 ジュニアオーケストラ・ジュニア合唱団	
事業の概要	台東区青少年教育の一環としてオーケストラを中心とする演奏活動や合唱を通じて、青少年の情操と協調の精神を養うとともに、台東区の文化の発展に寄与する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	音楽的な技術や感性を養うと共に、音楽を通して様々な年代での交流を図る活動を実施する。
	事業実績	下記のとおり活動を実施 定期練習、強化練習、夏季合宿、主催演奏会
	事業の成果	練習等の活動を通じて音楽的な技術や感性を養うと共に、団員として集団における態度を身につけることができた。また、年に数回の演奏会を実施することで、区の文化発展に貢献した。
	事業の課題	今後も充実した事業展開が図られるように指導者や学校、また父母会との連携が求められる。
担当課評価	A	様々な年代の子供たちが同じ目標に向かって活動することで多様な学びを得ており、団員や保護者からも事業に対する評価が高いため。

【生涯学習課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(2) 青少年の活動への支援】

N0.	2-(2)-②-36	
施 策	②放課後等の活動支援	
事 業 名	36 生活指導子ども会	
事業の概要	児童の校外生活を有意義なものとし、主に遊びやスポーツ、文化活動を通して集団生活のルールを習得させる為、小学校19会場で実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	全19小学校で生活指導子ども会を実施する。
	事業実績	下記のとおり生活指導子ども会を実施 実施回数 延1,104回 参加者数 延37,555人
	事業の成果	児童館やこどもクラブ、放課後子供教室等と同様に、児童が安全・安心に過ごせる場所の1つとなっている。
	事業の課題	小学校ごとに実施頻度などの条件が異なるため、恒常的な放課後の居場所としていく必要がある。
担当課評価	A	全19小学校で生活指導子ども会を実施しているため。

【児童保育課（放課後対策担当）】

N0.	2-(2)-②-37	
施 策	②放課後等の活動支援	
事 業 名	37 放課後子ども広場（平成30年度から放課後子供教室に名称変更）	
事業の概要	地域ぐるみの児童健全育成を図るため、安全・安心な居場所として、小学校の校庭や余裕教室を活用し、児童が自主的に参加できる「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供する全児童対象の放課後対策事業を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	放課後子ども広場（放課後子供教室）を実施する。
	事業実績	下記のとおり放課後子ども広場（放課後子供教室）を実施 ・千束小学校（平成20年7月 事業開始） ・石浜小学校（平成28年4月 事業開始） ・大正小学校（平成30年4月 事業開始） ・忍岡小学校（平成31年4月 事業開始） ・蔵前小学校（平成31年4月 事業開始）
	事業の成果	全ての実施校において、年間を通じて事業を実施することで、実施校児童に放課後の安全・安心な居場所を提供することができた。
	事業の課題	地域ぐるみで児童の健全育成を推進するためには、地域の理解と協力が不可欠であり、継続的に事業内容等を周知していく必要がある。
担当課評価	A	平成29年12月に策定した「台東区放課後対策の方針」に基づき、区内全小学校での放課後子供教室の実施に向け、準備の整った学校から順次事業展開を進めているため。

【児童保育課（放課後対策担当）】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(2) 青少年の活動への支援】

N0.	2-(2)-②-38	
施 策	②放課後等の活動支援	
事 業 名	38 児童館	
事業の概要	子供の健全育成を目的とし、個別的・集団的な遊び、図工及び音楽の指導や表現活動、野外活動を行う。また、子供達の自主企画による活動を行うなど、子供達の健全な成長を促進する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり児童館事業を実施する。 児童館 8館
	事業実績	下記のとおり児童館事業を実施 児童館 8館
	事業の成果	児童の健全育成を目的に、児童館内で実施しているスポーツ活動や造形活動、日々の活動を発表する場としての下町こどもステージや児童館作品展、児童館の催しを子供たちが企画・運営することも会議などを実施した。
	事業の課題	18歳未満のすべての子供を対象とした施設だが、小学校高学年以上になると利用が減少する傾向にある。
担当課評価	A	区内8か所全てで児童館事業を実施しているため。

【児童保育課（放課後対策担当）】

N0.	2-(2)-②-39	
施 策	②放課後等の活動支援	
事 業 名	39 こどもクラブ	
事業の概要	就労などにより、放課後、保護者が家庭にいない児童に対し、遊びや生活の場を提供して、個別的・集団的に指導し、その健全な育成を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりこどもクラブ事業を実施する。 こどもクラブ 24か所
	事業実績	下記のとおりこどもクラブ事業を実施 こどもクラブ 24か所
	事業の成果	需要の高い根岸小学校区に根岸こどもクラブを開設した。
	事業の課題	全体の定員数は、利用者数と待機児童数の合計を上回っているものの、学校や自宅近くのクラブを希望する児童が多く、待機児童が発生している。
担当課評価	A	区内24か所でこどもクラブ事業を実施しているため。

【児童保育課（放課後対策担当）】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(2) 青少年の活動への支援】

N0.	2-(2)-③	
施 策	③異なる世代の交流促進	
事 業 名	青少年教育の推進（少年リーダー研修会）[再掲事業 34]	
事業の概要	青少年が異年齢集団において自主性・社会性・創造性を身につけ、地域の青少年活動などの集団でリーダーシップを発揮できるように、少年リーダー研修会を実施する。	
元年度事業評価	目 標 (取組内容)	グループ活動の大切さや楽しさを学ぶ研修会を実施する。
	事 業 実 績	下記のとおり実施 研修生 小学校4年生～高校生年代 165名 研修会 延55日
	事業の成果	定例研修会や宿泊研修会を通し、集団活動における望ましい態度や技術を身につけることができた。
	事業の課題	区内全域から年齢も学校も異なる、より多くの研修生が集うための工夫が必要である。また今後も継続して研修会を実施していくためにも、指導を担う地域の方々、及び学校との連携が必要となる。
担当課評価	A	年代を超えてのグループ活動は貴重な体験であり、研修生や保護者からも事業に対する評価が高いため。

【生涯学習課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(3) 成人の学習支援】

N0.	2-(3)-①-43	
施 策	①大人の学び直し等学習機会の提供	
事 業 名	43 生涯学習ラーニングスクエア (パソコン講座)	
事業の概要	生涯学習センターのコンピューター研修室を活用し、これまでの講座の内容を見直し、より区民のニーズに合わせた学習講座を開催する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	区民ニーズに対応した、パソコンやインターネットの知識や技術を習得するための18講座を実施する。
	事業実績	下記のとおり実施 14講座 〔 受講者数 延918名 〕 〔 日数 延59日 〕
	事業の成果	習得度やメディアを分けるなど、様々なコースを設定し、幅広い年齢層を対象に講座を開催した。
	事業の課題	時代の変化や区民のニーズに柔軟に対応し、講座内容の充実を図っていく必要がある。
担当課評価	B	講座内容を見直し、受講コースを統合したことにより、目標講座数に達しなかったため。

【生涯学習課】

N0.	2-(3)-①-44	
施 策	①大人の学び直し等学習機会の提供	
事 業 名	44 オリンピック・パラリンピック生涯学習講座	
事業の概要	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、オリンピック・パラリンピックの歴史、大会の楽しみ方をはじめ、語学や異文化理解、また日本文化や台東区の歴史などの講座を開催し、来街者へのおもてなしの心や行動できる実行力につながるきっかけを作る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催の気運醸成を図る講座を下記のとおり実施する。 5講座
	事業実績	下記のとおり講座を実施 5講座 〔 受講者数 延817名 〕 〔 日数 延45日 〕
	事業の成果	オリンピック・パラリンピックの歴史・語学・異文化理解・おもてなし・スポーツ人類学といった様々な講座を開催することができた。
	事業の課題	受講をきっかけに、今後の気運醸成につなげていくことが大切である。
担当課評価	A	区の歴史や地域特性、来街者のおもてなしといった、本区の特性を活かした学習の機会を提供することができたため。

【生涯学習課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(3) 成人の学習支援】

NO.	2-(3)-①	
施 策	①大人の学び直し等学習機会の提供	
事 業 名	図書館の活動の推進 [再掲事業 11]	
事業の概要	区民の文化的教養を高め、調査研究や課題解決を支援するとともに生涯を通じて学ぼうとする区民に必要とする資料や情報を収集・提供し、身近な情報拠点として区民の暮らしに寄与する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	台東区立図書館取組方針に基づき、生涯学習に寄与する資料の収集を進める。
	事業実績	所蔵数665, 566点(令和2年3月31日現在)
	事業の成果	区民ニーズに応えつつ、レファレンス資料や外国人向け資料などの収集・充実を図ったため、身近な情報拠点としての役割を果たすことができた。
	事業の課題	実用書などの最新の情報の提供が必要な既存資料は、区民の学習意欲に応えるため適切な情報更新が必要である。
担当課評価	A	情報更新のための除籍を進めているため、所蔵数は減少傾向にあるが、外国人向け資料などの資料の充実やパスファインダーによるビジネス資料の案内など情報提供方法の充実を図ったため。

【中央図書館】

NO.	2-(3)-①-45	
施 策	①大人の学び直し等学習機会の提供	
事 業 名	45 郷土資料の記録と整備	
事業の概要	台東区の歴史・文化に親しむ環境を整備し、「台東区ゆかりの文学コーナー」の企画展示、郷土史講座などの事業を実施するとともに、郷土資料の充実を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり利用実績を目指す。 資料室利用件数 59, 000件
	事業実績	令和元年度の利用実績は下記のとおり 資料室利用件数 51, 919件
	事業の成果	新型コロナウイルスの影響により、イベント開催が1回分中止となったにもかかわらず、講座等の参加者総数は大幅に増加し、歴史・文化に親しむ環境を提供することができた。
	事業の課題	昨年度と比較して資料室の利用件数が減少したため、郷土・資料調査室について広く周知を行うほか、2階の奥に位置する郷土・資料調査室への導線を館内表示等でさらに工夫をし、利用を促進していく。
担当課評価	B	開催した講座等の参加者数は大幅に増加したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月から閉室としたことにより、目標数値には至らなかったため。

【中央図書館】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(3) 成人の学習支援】

N0.	2-(3)-②-50	
施 策	②施設等学習環境の充実	
事 業 名	50 少年自然の家「霧ヶ峰学園」	
事業の概要	校外施設としての「霧ヶ峰学園」の管理運営及び区内在住・在勤者の利用に際してサービスの提供を行うことによって、優れた自然環境の中で、集団宿泊生活を通じて心身ともに健全な少年の育成を図るとともに、区民の健康増進及び余暇活動を促進する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり実施する。 利用人数 延15,000人
	事業実績	下記のとおり実施 利用人数 延13,265人
	事業の成果	「霧ヶ峰学園」の適切な管理運営及び利用者へのサービス提供により、心身ともに健全な少年の育成や区民の健康増進及び余暇活動を促進することができた。
	事業の課題	閑散期の利用促進について検討する必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために施設を休館したことにより、後半期の利用が伸びず、目標を達成することができなかったため。

【学務課】

N0.	2-(3)-③-51	
施 策	③障害のある区民の学習環境の整備	
事 業 名	51 下谷青年学級	
事業の概要	区内在住在勤の特別支援が必要な青年男女を対象に、主に柏葉中学校を会場として実施する。学級生の自主性を尊重し、学習講座、バスハイク、スポーツなど、仲間との交流を図りながら、実社会に適應できる幅広い学習活動を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり下谷青年学級を実施する。 年間活動 12回
	事業実績	下記のとおり下谷青年学級を実施 年間活動 11回
	事業の成果	年間の様々な活動において、仲間同士協力し合い、学級生が主体となって学級運営ができた。
	事業の課題	学級生に対してより細やかな支援を行うために、一層のボランティア等の支援者の参加が求められる。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標の年間活動回数に満たなかったため。

【生涯学習課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(3) 成人の学習支援】

N0.	2-(3)-③-52	
施 策	③障害のある区民の学習環境の整備	
事 業 名	52 視覚障害者図書サービス	
事業の概要	視覚障害などの情報弱者支援のため、情報誌や一般図書を声の図書(CD、DAISY資料)として作製・収集・貸出を行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	令和3年度末までに声の図書所蔵数を1,400タイトル所蔵するために、区民ニーズや蔵書の特徴を踏まえながら収集を進める。
	事業実績	声の図書所蔵数 1,162タイトル(令和2年3月31日現在)
	事業の成果	ボランティアの方々の協力により、利用者からのリクエストや収集に注力している池波正太郎作品の音訳資料を作製・収集し、利用者に提供した。
	事業の課題	区独自の資料の収集・充実するにあたっては、音訳ボランティアの方々の協力による音訳資料の作製が不可欠であるため、音訳ボランティアの育成を推進する必要がある。
担当課評価	A	池波正太郎作品を中心に着実に収集を進めるとともに、講座の開催により新たなボランティアの育成に努めたため。

【中央図書館】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(4) 高齢期の社会活動促進】

N0.	2-(4)-①-55	
施 策	①シニア世代の学習機会の提供	
事 業 名	55 シニアライフ応援計画	
事業の概要	シニア世代が、より充実した生きがいのある生活ができるよう応援するため、地域活動の参加を促進するための講座や、健康などシニア世代に関心の高いテーマの講座を開催する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	シニア世代対象の講座を実施する。
	事業実績	下記のとおりシニア世代対象の講座を実施 実行委員会 10回 講座 3回
	事業の成果	実行委員会の開催及び講座の実施を通して、シニア世代の充実した生活を応援することができた。
	事業の課題	実行委員会をより活性化するため、委員の増加を図る必要がある。
担当課評価	A	シニア向けの講座を、シニア世代で構成される実行委員会 が中心となり実施しているため。

【生涯学習課】

N0.	2-(4)-③-59	
施 策	③シニアが関わる地域での学習活動の支援	
事 業 名	59 いきいき台東っ子応援団	
事業の概要	保育園などの児童施設で、経験豊かなシニア世代が子供たちに伝統や 芸能、遊びなど様々な体験の機会を提供することで子供の健やかな成長 を図るとともに、地域のシニア世代と各施設の交流を促進する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	いきいき台東っ子応援団を児童施設で実施する。
	事業実績	下記のとおりいきいき台東っ子応援団を実施 参加者数 6,230人 (うち大人1,361人) 登録団員数 25人 派遣回数 94回 (延163人)
	事業の成果	新型コロナウイルス感染症や団員都合による中止を除きほぼ計画どお りに実施し、団員と児童の交流を図ることができた。
	事業の課題	団員の高齢化による事業実施への影響や、登録者微減による児童の体 験内容の固定化に対する団員及び内容(特技)の新規開拓について、検 討が必要である。
担当課評価	A	在園児だけでなく児童館等を利用する地域住民(未就園児 親子)からも好評である。各施設において、団員との交流を 深めるために参加者を絞る傾向があると思われるので改善 していく必要がある。

【児童保育課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(5) 多様化する区民の新しいニーズへの対応】

N0.	2-(5)-①-61	
施 策	①学習情報の把握・提供方法の充実	
事 業 名	61 生涯学習ガイドブックの発行	
事業の概要	半年毎の講座・イベントの情報提供をする「講座・イベント編」と団体の情報を提供する「団体・サークル編（隔年発行）」をガイドブックとして作成し、区民へ学習情報の提供をする。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりガイドブックを配布する。 年6,000部
	事業実績	下記のとおり ガイドブック（「講座・イベント編」）の情報を提供（「団体・サークル編」は非発行年度） 上半期分 1,500部配布 下半期分 ホームページ掲載
	事業の成果	生涯学習ガイドブックの講座・イベント情報と団体情報について半年ごとに提供することができた。
	事業の課題	より多くのイベント情報を掲載できるよう、幅広く情報収集をしていく必要がある。
担当課評価	A	情報提供を効率的に行うため、上半期に「講座・イベント編」、下半期からホームページによる提供のみとした。

【生涯学習課】

N0.	2-(5)-①-62	
施 策	①学習情報の把握・提供方法の充実	
事 業 名	62 生涯学習情報紙の発行	
事業の概要	生涯学習センターや、社会教育センター及び社会教育館の情報を提供するセンターニュース・社教館ニュースを毎月発行する。また、教育委員会で発行する情報紙にも、記事を掲載し情報提供の充実を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり生涯学習情報紙（センターニュース）を発行する。 年24,000部
	事業実績	下記のとおり生涯学習情報紙（センターニュース）を発行 年24,000部
	事業の成果	生涯学習センターにおける事業・イベント等の周知ができた。
	事業の課題	配布先や読者への意見の聴取やアンケートの実施により、より充実した内容に努めていく必要がある。
担当課評価	A	毎月定期的な情報提供ができているため。

【生涯学習課】

【施策の目標 2 あらゆる世代の多様な学習を振興する】

【(5) 多様化する区民の新しいニーズへの対応】

N0.	2-(5)-①-63	
施 策	①学習情報の把握・提供方法の充実	
事 業 名	63 I C Tによる広報活動の充実	
事業の概要	区民の学習活動を支援するため、区や様々な団体が実施する講座や講演に関する情報や団体や個人の学習活動に活かせる多くの情報などを、I C Tを活用して提供できるよう充実を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	生涯学習に関する情報についてI C Tを活用して提供できるように充実を図っていく。
	事業実績	生涯学習に関する講座などの情報をホームページ上で公開し、情報の提供を行った。
	事業の成果	生涯学習に関する講座などの情報をホームページにより、提供ができています。
	事業の課題	生涯学習に関する情報をより見やすくするとともに、ホームページ以外のツイッターやメールマガジンといったメディアなどでも提供することが必要である。
担当課評価	A	ホームページなどを通じて、講座や講演に関する情報を提供できているため。

【生涯学習課】

N0.	2-(5)-②-65	
施 策	②ニーズに対応する学習機会の提供	
事 業 名	65 (仮称) 台東区民カレッジの展開	
事業の概要	区などが提供している様々な学習機会を総合的に捉え、(仮称)台東区民カレッジとして、区民の生涯にわたる学習の機会を提供する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	モデル事業を実施し検証を行うことにより、(仮称)台東区民カレッジの具体化を図る。
	事業実績	モデル事業の実施
	事業の成果	元年度は東京文化会館と連携して、地域での音楽活動者を対象とした講座を実施し、講座内で区内の高齢者施設で発表会を行った。
	事業の課題	事業を進めるにあたり、事業目的や展開方法など、連携先と綿密に情報共有を図る必要がある。また、参加者が講座終了後も継続して学習に取り組める仕組みの構築が求められる。
担当課評価	A	本格的な事業開始に向けて、計画的に取り組んでいるため。

【生涯学習課】

【施策の目標 3 伝統・文化を継承・発展させる】

【(1) 芸術文化の振興】

N0.	3-(1)-①-68	
施 策	①芸術文化に触れる機会の充実	
事 業 名	68 台東区美術展	
事業の概要	公募による台東区民の絵画や彫刻などの美術作品を発表する機会を提供するとともに、区民の観覧を通して美術への関心を高め、台東区の美術文化の向上を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	公募による台東区民の作品をリバーサイドギャラリーに展示し、一般の観覧に供することで、台東区の美術文化の向上を目指す。
	事業実績	下記のとおり台東区美術展を実施 開催期間 6日間 出品点数 101点 入場者数 延939人
	事業の成果	区民の優れた作品を募集・公開することで、美術への関心を高める機会を提供できた。
	事業の課題	出品数や入場者数の増加を促進するため、広報活動の拡充が必要である。
担当課評価	A	計画どおり実施できたため。

【生涯学習課】

N0.	3-(1)-①-71	
施 策	①芸術文化に触れる機会の充実	
事 業 名	71 文化財講座	
事業の概要	文化財や伝統文化などの講座を開催し、歴史的な資源を後世に継承する意義や重要性を区民に広く周知することで、区民の文化財保護、保存の意識や郷土愛を高める。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり文化財講座を実施する。 年8回
	事業実績	下記のとおり文化財講座を実施 文化財講座等実施回数 年8回 受講者及び参加者数 計151人
	事業の成果	台東区の文化財及び郷土・歴史について学ぶ機会をつくることで、区民の文化財保護・保存の意識と郷土愛を高めることができた。
	事業の課題	広報の改善等を図ることで、文化財講座等の受講者及び参加者数の増加に取り組んでいく必要がある。
担当課評価	A	目標に沿い、計画的に事業を実施することができたため。また、区民の文化財保護・保存の意識について啓発を図ることができたため。

【生涯学習課】

【施策の目標 3 伝統・文化を継承・発展させる】

【(1) 芸術文化の振興】

N0.	3-(1)-②-75	
施 策	②芸術文化情報の発信	
事 業 名	75 史跡説明板の整備	
事業の概要	史跡散策に活用してもらうため、台東区の豊かな歴史的風土に包まれた文化財を紹介する史跡説明板を計画的に整備する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり史跡説明板を整備する。 累計193基
	事業実績	下記のとおり史跡説明板を整備 令和元年度 設置 2基 取替 2基 累計193基(撤去6基を含む)
	事業の成果	区民の文化財等に関する知識を深めるとともに、台東区の郷土・歴史について興味・関心を持つきっかけをつくることのできた。
	事業の課題	史跡説明板を拡充するため、文化財所有者等に働きかける必要がある。また、既設史跡説明板の現状を把握し、必要に応じて取替等を行う必要がある。
担当課評価	A	目標に沿い、計画的に事業を実施することができたため。また、区民や来街者に文化財等について案内するとともに、台東区の文化・歴史について興味・関心を持つきっかけをつくることのできたため。

【生涯学習課】

【施策の目標3 伝統・文化を継承・発展させる】

【(3) 文化財の保存・活用】

N0.	3-(3)-①-86	
施 策	①地域文化の保存と継承	
事 業 名	86 台東区映像アーカイブ	
事業の概要	区民などが所有する台東区の風景やお祭、人々の活動などが記録された昔の貴重な映像の発掘、保存、活用を実施する。収集した映像資料をデジタル化し、図書館でDVDの貸出を行うほか、高齢者施設での集会で使用してもらうなどさまざまな活用方法を通じて広く公開していく。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり公開DVDの貸出を実施する。 年300本（令和元年度より公開DVD貸出数目標値を変更。）
	事業実績	下記のとおり公開DVDの貸出を実施 年156本
	事業の成果	公開DVDの貸出や、台東区公式チャンネル（YouTube）での作品公開により、多くの区民等に台東区の昔の風景や生活を知る手段を提供することができた。
	事業の課題	広報等の改善を図ることで、公開DVDの貸出数の増加に取り組んでいく必要がある。
担当課評価	B	公開DVDの貸出数が目標値を下回っているため。今後は、新規公開DVDの制作や台東区公式チャンネル（YouTube）の公開作品を増やすとともに、DVD貸出の案内について、広報たいとうなど様々な媒体を活用して周知活動を強化していく。

【生涯学習課】

N0.	3-(3)-①-87	
施 策	①地域文化の保存と継承	
事 業 名	87 池波正太郎記念文庫	
事業の概要	台東区出身の作家、池波正太郎氏の業績や作品の世界を広く伝えるため、同氏の作品に関する資料を収集、保存、展示するとともに、戦前から現代までの貴重な時代小説を収集、公開する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり企画展及び講座・講演会を実施する。 企画展 4回 講座・講演会 4回
	事業実績	下記のとおり企画展及び講座・講演会を実施 企画展 4回 講座・講演会 5回
	事業の成果	都内外問わず、複数回受講する方が多く、池波正太郎作品に対する関心の高さが伺えた。
	事業の課題	一定の根強い池波ファンがいるものの入館者数は減少傾向にあり、今後、若い世代など新たなファン層を増やすことが必要である。
担当課評価	A	予定どおりの回数を開催することができたため。

【中央図書館】

【施策の目標3 伝統・文化を継承・発展させる】

【(3) 文化財の保存・活用】

NO.	3-(3)-①	
施策	①地域文化の保存と継承	
事業名	郷土資料の記録と整備 [再掲事業 45]	
事業の概要	台東区の歴史・文化に親しむ環境を整備し、「台東区ゆかりの文学コーナー」の企画展示、郷土史講座などの事業を実施するとともに、郷土資料の充実を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり利用実績を目指す。 資料室利用件数 59,000件
	事業実績	利用実績は下記のとおり 資料室利用件数 51,919件
	事業の成果	新型コロナウイルスの影響により、イベント開催が1回分中止となったにもかかわらず、講座等の参加者総数は大幅に増加し、歴史・文化に親しむ環境を提供することができた。
	事業の課題	昨年度と比較して資料室の利用件数が減少したため、郷土・資料調査室について広く周知を行うほか、2階の奥に位置する郷土・資料調査室への導線を館内表示等でさらに工夫をし、利用を促進していく。
担当課評価	B	開催した講座等の参加者数は大幅に増加したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月から閉室としたことにより、目標数値には至らなかったため。

【中央図書館】

NO.	3-(3)-②-88	
施策	②地域文化の活用と発展	
事業名	88 埋蔵文化財普及啓発	
事業の概要	子供を対象とする考古学教室の実施、生涯学習センターでの台東区区民文化財台帳登載・指定の埋蔵文化財（出土品）展示の実施、埋蔵文化財などの説明パネルの充実などを行い、区民の郷土の歴史・文化遺産への啓発を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり子供考古学教室を実施する。 実施回数 年2回
	事業実績	下記のとおり子供考古学教室を実施 実施回数 年2回 参加者数 延73人
	事業の成果	区民の郷土の歴史・文化遺産への関心を高めることができた。
	事業の課題	広報の改善等を図ることで、子供考古学教室の参加者数の増加に取り組んでいく必要がある。
担当課評価	A	計画的に事業を実施することができたため。また、区民の郷土の歴史・文化遺産への関心を高めることができたため。

【生涯学習課】

N0.	3-(3)-②-89	
施 策	②地域文化の活用と発展	
事 業 名	89 台東区歴史・文化検定	
事業の概要	台東区の子供達に郷土の歴史・文化を伝えるために作成している「台東区歴史・文化テキスト」を改訂し、その内容の充実を図る。また、その学習の成果を高める「台東区子供歴史・文化検定」を受検しやすい方法で実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	台東区子供歴史・文化検定を下記のとおり実施する。 実施回数 1回
	事業実績	下記のとおり台東区子供歴史・文化検定を実施 実施回数 1回 テキストの配付数 1, 570冊 受検者数 2, 325名
	事業の成果	区立小学校5年生に「台東区歴史・文化テキスト」を配付することができた。また、8～9月にかけて「台東区子供歴史・文化検定」を実施することができた。
	事業の課題	学校用受検マニュアルの改善を図ることで、「学校受検」実施校の増加に取り組んでいく必要がある。
担当課評価	A	計画的に事業を実施することができたため。台東区の歴史・文化に対する理解を深め、郷土を愛する心を育むため、引き続き「学校受検」未実施校に受検勧奨を働きかけていく。

【生涯学習課】

N0.	3-(3)-②-90	
施 策	②地域文化の活用と発展	
事 業 名	90 台東区の民話と伝承遊びの普及	
事業の概要	教育委員会が委嘱した民話と伝承遊びの普及委員が、区立小学校、幼稚園、保育園、こども園を訪問し、区内に伝わる民話や伝説の紙芝居や古くから伝わる昔遊びの指導などを行い子供達の郷土を愛する心を育む。また、普及委員養成講座を通じて普及活動の充実を図るほか、区民にも民話などの継承を行う機会とする。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	全区立学校園で普及活動を実施し、生まれ育った郷土をよく知り、愛する心を育成する。また、養成講座を実施し普及活動の充実を図る。
	事業実績	下記のとおり実施 普及活動 年間56回 参加者数 2, 514人
	事業の成果	台東区の民話や伝承遊びを知ることで、自分の住む街に興味と関心を持つ機会となっている。
	事業の課題	地域に応じた新規教材の作製など、教材の充実を図る必要がある。
担当課評価	A	インフルエンザの流行による中止を除き、予定どおり実施することができたため。

【生涯学習課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを实践する】  
【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

N0.	4-(2)-①-100	
施 策	①生涯スポーツ社会の実現	
事 業 名	100 正しいラジオ体操の指導	
事業の概要	運動能力の基礎づくりとして正しい動作を学ぶため、台東区教育委員会が任命した「台東区フィジカルプロデューサー」を活用し、夏期ラジオ体操地区大会や体育の日記念行事での準備体操などで正しいラジオ体操の指導を行う。また、学校教育においても、正しいラジオ体操を指導する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	正しいラジオ体操指導を実施する。
	事業実績	正しいラジオ体操指導を実施
	事業の成果	安心・安全にスポーツを楽しめるよう、スポーツをする上で欠かせない体操など準備運動に関する知識・方法を普及するとともに、けがの防止を図ることができた。
	事業の課題	小中学校への派遣指導を充実させる必要がある。
担当課評価	A	区民の健康増進に寄与できているため。

【スポーツ振興課】

N0.	4-(2)-①-101	
施 策	①生涯スポーツ社会の実現	
事 業 名	101 アスリートから学ぶ Let' s Enjoy スポーツ	
事業の概要	トップアスリートの本物の迫力を間近で観てもらい、スポーツの素晴らしさを感じてもらうとともに、オリンピック・パラリンピック種目の競技を体験できる機会を提供する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	東京2020大会の気運醸成のため「アスリートから学ぶ Let' s Enjoy スポーツ」の開催に向けた準備を行う。
	事業実績	東京2020大会100日前に合わせたイベント開催に向け、イベントの企画やアスリートの選定等の準備業務を実施
	事業の成果	東京2020大会の気運醸成を図るため、招聘するアスリートや実施種目を増やす等、イベント内容を拡充した実施計画を策定した。
	事業の課題	多くの方に興味を持ってもらうため、知名度のあるアスリートの選定及び招聘を行う必要がある。
担当課評価	A	東京2020大会の気運を醸成するためにイベント開催に向けた準備を行ったため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

NO.	4-(2)-①-102	
施 策	①生涯スポーツ社会の実現	
事 業 名	102 スポーツボランティアを育む	
事業の概要	スポーツボランティアを育成するために、必要な知識を習得できる講習会を開催する。また、ボランティアの登録制度により、区内外のスポーツイベントの情報提供を行い、スポーツボランティアとして活躍できる場を提供する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりスポーツボランティアへの登録を目指す。 登録者数 120名
	事業実績	下記のとおりスポーツボランティアに登録 登録者数 131名
	事業の成果	本事業の実施により、区民のボランティアへの気運醸成を図ることができた。
	事業の課題	スポーツボランティア登録者の活躍の場を増やすため、ボランティア連携区との繋がりを強め、さらなるイベント情報の発信に努めていくことが必要である。
担当課評価	A	東京2020大会に向けてスポーツを支えるボランティアの重要性が高まっており、スポーツボランティア登録者数は着実に増加しているため。

【スポーツ振興課】

NO.	4-(2)-①-103	
施 策	①生涯スポーツ社会の実現	
事 業 名	103 総合型地域スポーツクラブ支援	
事業の概要	多くの区民が気軽に参加できる日常的なスポーツの機会を提供するため、地域住民の自主的な運営により活動を行っている総合型地域スポーツクラブに対し、啓発や活動場所の提供などを通じて支援する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	総合型地域スポーツクラブ支援を実施する。
	事業実績	総合型地域スポーツクラブ支援の実施
	事業の成果	啓発や活動場所の提供などを通じて、会員の健康保持増進を図るとともに、地域に根ざしたスポーツ環境づくり、及び活力に満ちた地域の形成に寄与することができた。
	事業の課題	さらなる総合型地域スポーツクラブ普及のため、啓発や活動場所の提供を継続していく。
担当課評価	A	支援を通じて、総合型地域スポーツクラブの普及に寄与することができたため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

NO.	4-(2)-①-104	
施 策	①生涯スポーツ社会の実現	
事 業 名	104 台東リバーサイドスポーツセンター 一般開放	
事業の概要	区民が気軽にスポーツを継続できるきっかけとなるよう、台東リバーサイドスポーツセンターで個人利用ができる、開放事業を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり各スポーツ種目について、毎週曜日を決めて定期的に、区民への施設開放を行う。 参加者数 延180,000人
	事業実績	下記のとおり実施 参加者数 延171,435人 〔内訳 屋外施設 4,288人 屋内施設 112,850人 水泳場 54,297人〕
	事業の成果	本事業の実施により、気軽にスポーツに親しめる環境の提供を、継続的に行うことができた。
	事業の課題	引き続き、体育協会との連携を深め、継続的に事業を行っていく必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症による施設閉館により、目標値をやや下回っているため。ただ、区民のスポーツ振興のきっかけとなっており、参加者も非常に多くなっているため取り組みを継続して実施していく。

【スポーツ振興課】

NO.	4-(2)-①-105	
施 策	①生涯スポーツ社会の実現	
事 業 名	105 区民体育祭の開催	
事業の概要	区民がスポーツを楽しみながら交流の輪を広げ、体力・健康増進を図り、日頃の練習の成果を発揮する場として、区民体育祭を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり区民体育祭事業を実施する。 大会参加者数 8,100人
	事業実績	下記のとおり区民体育祭事業を実施 大会参加者数 6,808人
	事業の成果	各種大会を実施することにより、区民が継続してスポーツに取り組む機会を提供することができた。
	事業の課題	事業継続に必要な各主管団体の高齢化が進み、大会運営に関わる後継者の育成が急がれる。
担当課評価	B	体育協会と連携し適切に大会を運営することができたが、台風や新型コロナウイルスにより4大会を中止したことによる大会参加者数の減のため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを实践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

N0.	4-(2)-①-106	
施 策	①生涯スポーツ社会の実現	
事 業 名	106 体育の日記念行事の開催	
事業の概要	区民にスポーツへ関心を持ってもらうため、体育の日に様々なスポーツが体験できるよう、区立スポーツ施設無料開放、ワンポイントレッスン、体力テストなどを実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり体育の日記念行事を実施する。 参加者数 1,800人
	事業実績	下記のとおり体育の日記念行事を実施 参加者数 1,307人
	事業の成果	体力テストや各種競技の体験を通じてスポーツへの関心を高めることができた。
	事業の課題	当日の天候により参加者数が増減してしまうことがあるが、雨天時でも開催可能な種目を充実させるなど工夫を重ねる必要がある。
担当課評価	B	荒天により参加者数が目標を下回ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	4-(2)-①	
施 策	①生涯スポーツ社会の実現	
事 業 名	幼児運動教室 [再掲事業 31]	
事業の概要	幼児の健やかな心と体作りのため、成長が著しい幼児を対象に、その特性に合わせた様々な身体の動かし方を学ぶ運動教室を実施し、幼児が身体を動かす習慣を作る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり幼児運動教室を実施する。 開催場所 3箇所
	事業実績	下記のとおり幼児運動教室を実施 開催場所 3箇所
	事業の成果	各教室とも定員を上回る申込があり、区民ニーズが非常に高い。今後も生涯スポーツ社会の実現に向けて、子供の体力向上につながる本事業を引き続き実施していく。
	事業の課題	事業へのニーズが非常に高く、台東リバーサイドスポーツセンターで実施している教室への申し込みは定員を大幅に超えている。
担当課評価	A	教室参加者は増加傾向にあり、多くの就学前の児童に対し、多様な運動を経験できる機会を設けているため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

NO.	4-(2)-②-107	
施 策	②スポーツのできる環境の整備	
事 業 名	107 台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改築及び庭球場など周辺環境の整備	
事業の概要	陸上競技場の改築をはじめ、庭球場や駐車場などを含めた施設整備に向けての基礎調査を実施し、魅力ある屋外スポーツ施設整備に取り組む。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	陸上競技場の整備手法等について、基本的な方針を検討するとともに、整備にあたっての課題を整理する。
	事業実績	陸上競技場の整備手法については大規模改修としていくとともに、課題解決に向けて、関係行政機関との協議を行った。
	事業の成果	翌年度（令和2年度）より基本計画策定業務を行う予定だが、そのために必要となる調査概要や手続きについて整理を行った。
	事業の課題	施設の整備にあたっては、老朽化対応だけでなく、熱中症対策、バリアフリー化等の課題についても併せて検討していく必要がある。
担当課評価	A	区民のスポーツニーズを踏まえて陸上競技場の整備業務を実施しているため。

【スポーツ振興課】

NO.	4-(2)-②-108	
施 策	②スポーツのできる環境の整備	
事 業 名	108 台東リバーサイドスポーツセンター	
事業の概要	陸上競技場の改築をはじめとする屋外施設の整備を計画していることから、工事期間中は円滑な施設運営が図れるよう、公益財団法人台東区芸術文化財団の過去の大規模改修時の管理・運営経験を活かしていく。また、施設運営にあたっては、個人開放やスポーツ教室を実施するなど、区民の多様なスポーツ活動の場である総合スポーツ施設として、体育館、陸上競技場などの運営を行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり台東リバーサイドスポーツセンターの運営を実施する。 利用者数 475,000人
	事業実績	下記のとおり台東リバーサイドスポーツセンターの運営を実施 利用者数 441,181人 (内訳 屋内施設 207,409人 屋外施設 179,475人 プール 54,297人)
	事業の成果	新型コロナウイルス感染症等の影響により施設の閉館を行ったため、利用者数が減少しているものの、開場期間中は多くの利用があった。また、陸上競技場の整備検討を進めるにあたり、指定管理者の管理運営経験を生かすことができた。
	事業の課題	翌年度（令和2年度）以降の施設運営について、施設再開方法も含め、慎重に検討していく必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症等の影響により施設の閉館を行ったため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

N0.	4-(2)-②-109	
施 策	②スポーツのできる環境の整備	
事 業 名	109 柳北スポーツプラザ	
事業の概要	台東区南部地域に密着した地域スポーツ施設である柳北スポーツプラザの体育館やテニスコート、プール（夏期）を貸し出し施設として運営を行う。また、老朽化する設備の計画的な整備を行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり柳北スポーツプラザの運営を実施する。 利用者数 延26,000人
	事業実績	下記のとおり柳北スポーツプラザの運営を実施 利用者数 延22,530人
	事業の成果	多くの方がスポーツを楽しむ場として施設を提供することができた。
	事業の課題	設備の老朽化への対応だけでなく、新型コロナウイルス感染症対策も慎重に検討していく必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症等の影響により施設の閉館を行ったため。

【スポーツ振興課】

N0.	4-(2)-②-110	
施 策	②スポーツのできる環境の整備	
事 業 名	110 たなかスポーツプラザ	
事業の概要	台東区北部地域に密着した地域スポーツ施設であるたなかスポーツプラザの体育館や、グラウンドなどを貸し出し施設として運営を行う。また、グラウンドを無料開放し、キャッチボールなどができる場所を提供する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりたなかスポーツプラザの運営を実施する。 利用者数 延35,000人
	事業実績	下記のとおりたなかスポーツプラザの運営を実施 利用者数 延44,610人
	事業の成果	新型コロナウイルス感染症等の影響により施設の閉館を行ったが、適切な維持管理・運営を行うことで、誰もが快適にスポーツを楽しめる場所を整備し、多くの方に利用していただくことができた。
	事業の課題	誰もが安心して安全にスポーツに親しめるよう、老朽化の改善を行う必要がある。
担当課評価	A	障害者スポーツの体験会を実施してきたこと等により、施設の認知度が上がったため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

N0.	4-(2)-②-111	
施 策	②スポーツのできる環境の整備	
事 業 名	111 清島温水プール・都立浅草高等学校温水プール区民開放	
事業の概要	区民の身近なプールとして、スポーツの振興を図るだけでなく、健康づくりやリハビリなど健康増進にも寄与できるプールの運営を行う。また、都立浅草高等学校の温水プールを借り上げ、区民への開放を行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり清島温水プール・都立浅草高等学校温水プール区民開放事業を実施する。 利用者数 延74,200人
	事業実績	下記のとおり清島温水プール・都立浅草高等学校温水プール区民開放事業を実施 利用者数 延78,464人 〔内訳 清島温水プール 75,431人 都立浅草高等学校温水プール 3,033人〕
	事業の成果	利用者ニーズに配慮した教室にしていくことや、水泳初心者に配慮していくことで、継続的に利用していただける、より親しみやすい施設としていくことができた。
	事業の課題	新型コロナウイルスの影響で一時的に休館していたため、再開にあたって、利用者に十分配慮した運営を行っていく必要がある。
担当課評価	A	指定管理者や委託業者と入念に協議を重ね、随時事業の改善を行った結果、目標利用者数を達成したため。

【スポーツ振興課】

N0.	4-(2)-②-112	
施 策	②スポーツのできる環境の整備	
事 業 名	112 区外スポーツ施設	
事業の概要	区民のスポーツ施設に対する需要に応えるため、また区民のスポーツ並びにレクリエーションの振興に寄与するため、区外のスポーツ施設として荒川河川敷運動公園運動場及び江戸川河川敷野球場を貸出施設として運営する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり区外スポーツ施設の運営を実施する。 利用者数 約42,000人 〔内訳 荒川河川敷運動公園運動場 28,000人 江戸川河川敷野球場 14,000人〕
	事業実績	下記のとおり区外スポーツ施設の運営を実施 利用者数 19,575人 〔内訳 荒川河川敷運動公園運動場 10,627人 江戸川河川敷野球場 8,948人〕
	事業の成果	区外のスポーツ施設を借り上げて活用することで、区民がスポーツを行う場所を充実させることができた。しかし、10月の台風被害の影響で休場期間が長期化し利用者が目標を下回った。
	事業の課題	台風や大雨等の自然災害発生後の復旧を迅速にし、区民のスポーツ活動への影響を最小限にとどめる必要がある。
担当課評価	C	台風被害の影響で目標値を下回ったため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを实践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

N0.	4-(2)-②-113	
施 策	②スポーツのできる環境の整備	
事 業 名	113 スポーツひろば	
事業の概要	区民が身近な場所でスポーツを始めるきっかけの場として、競技スポーツのほか、気軽に取り組めるニュースポーツなどの教室を実施する。また、利用促進のため、各ひろばにおいて、初心者教室を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりスポーツひろば事業を実施する。 参加者数 延10,000人
	事業実績	下記のとおりスポーツひろば事業を実施 参加者数 延7,212人
	事業の成果	スポーツを身近に感じることができる教室等を定期的に開催することで、区民がスポーツに触れる機会を確保することができた。
	事業の課題	参加者や指導員が安心してスポーツに親しむためにも、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行う必要がある。
担当課評価	B	参加者数は目標に達していないため。なお、実施会場校の大規模改修や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休場となり実施回数が大幅に減少したが、1回あたりの平均参加者数は前年度から0.6ポイント増加して15.3人となり、増加傾向にある。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

NO.	4-(2)-③-115	
施 策	③スポーツにより支えあう社会の実現	
事 業 名	115 パラリンピック出場予定のアスリートへの支援及び連携	
事業の概要	台東区とつながりが深いパラリンピック競技のトップアスリートに対して活動場所の確保などを行い、台東区を活動の拠点とした障害者スポーツ活動を支援する。また、支援するトップアスリートと連携し、区民の障害者スポーツへの関心の向上を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	パラリンピック競技のトップアスリートに対して活動場所の確保などを行い、台東区を活動の拠点とした障害者スポーツ活動を支援する。
	事業実績	障害者スポーツ活動を支援するとともに、下記のとおりトップアスリートと連携を実施 障スポチャレンジ（シッティングバレーボール） 28回実施
	事業の成果	台東区を活動の拠点とした障害者スポーツ活動を支援することで、区民の障害者スポーツへの関心の向上を図ることができた。
	事業の課題	障害者スポーツへの関心を持つ人の割合を70%に引き上げる取組を行っていく必要がある。
担当課評価	A	パラリンピック競技のトップアスリートと区民が交流する機会を設けることで、区民に対し障害者スポーツの魅力や素晴らしさを広めることができたため。

【スポーツ振興課】

NO.	4-(2)-③-116	
施 策	③スポーツにより支えあう社会の実現	
事 業 名	116 障害者スポーツ体験会	
事業の概要	障害のある方が障害者スポーツを始めるきっかけとし、また、多くの区民に障害者スポーツの魅力を理解してもらう機会とするため、障害の有無に関わらず楽しむことができる障害者スポーツの体験会を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり障害者スポーツ体験会を実施する。 参加者数 延150人
	事業実績	下記のとおり障害者スポーツ体験会を実施 参加者数 延531人
	事業の成果	障害者スポーツ体験会を通じて、多くの区民が障害者スポーツに触れる機会を創出することができた。
	事業の課題	障害者スポーツへの関心を持つ人の割合を70%に引き上げる取組を行っていく必要がある。
担当課評価	A	障害の有無に関わらず誰もが気軽に参加できる障害者スポーツ体験会を実施し、多くの区民に障害者スポーツの魅力を理解してもらうことができたため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する】

【(2) 生涯スポーツ活動の充実】

N0.	4-(2)-③-117	
施 策	③スポーツにより支えあう社会の実現	
事 業 名	117 障害者水泳教室	
事業の概要	スポーツに不安や苦手意識がある障害のある方のスポーツを始めるきっかけづくりのため、専門的指導員の指導のもと無理なく全身運動が行える水泳教室を実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり障害者水泳教室を実施する。 参加者数 延52人
	事業実績	下記のとおり 障害者水泳教室を実施 参加者数 延160人
	事業の成果	障害の程度や対象（子供・大人）に合わせて指導内容を工夫したことで、多くの参加者を受け入れることができた。
	事業の課題	参加者のニーズに合ったプログラムを検討していく必要がある。
担当課評価	A	障害者水泳指導者養成講座の受講者にもボランティアとして参加していただき、障害のある方にスポーツをすることの楽しさや素晴らしさを実感してもらったため。

【スポーツ振興課】

【施策の目標 5 生涯学習を推進するシステムを確立する】

【(1) 生涯学習の場の整備】

N0.	5-(1)-①	
施 策	①学習施設の整備・充実	
事 業 名	社会教育センター・社会教育館の管理運営[再掲事業 9]	
事業の概要	<p>区内の社会教育団体などに学習の場所を提供し、その学習活動・組織活動を支援する。また、生涯学習ラーニングスクエア、親と子の教室など様々な講座を開設し、自主グループの結成、区民の生涯学習・文化教養の向上に寄与する。</p> <p>また、施設を効果的に活用できるような改修を計画的に実施する。</p>	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	より多くの区民の学習活動・組織活動を支援し、様々な講座を開設することで生涯学習に寄与する。 利用者数 130,000人
	事業実績	利用者数 118,416人
	事業の成果	新型コロナウイルス感染防止のため、利用者数は前年度を下回ったが、社会教育センターの照明のLED化により、環境改善を図った。
	事業の課題	施設の老朽化に伴う、計画的な改修が必要である。また、ソーシャルディスタンスに留意しながら貸出しを行いつつも、利用者数の確保に努める必要がある。
担当課評価	B	社会教育センターの照明のLED化により環境改善を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値を下回ったため。

【生涯学習課】

N0.	5-(1)-①	
施 策	①学習施設の整備・充実	
事 業 名	生涯学習センターの管理運営 [再掲事業 10]	
事業の概要	<p>ミレニアムホールや研修室・会議室などの施設を社会教育団体などに貸出すことで学習の場所を提供し、区民が地域活動や学習活動に参加できる環境をつくる。</p>	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	区民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援し、生涯学習環境を整備する。 利用者数 360,000人
	事業実績	利用者数 355,603人
	事業の成果	新型コロナウイルス感染防止のため、個人利用の休止や団体利用の自粛を要請したことにより、利用者数は目標値を下回った。
	事業の課題	ソーシャルディスタンスに留意しながら貸出しを行いつつも、利用者数の確保に努める必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値を下回ったため。

【生涯学習課】

【施策の目標 5 生涯学習を推進するシステムを確立する】

【(1) 生涯学習の場の整備】

NO.	5-(1)-①	
施 策	①学習施設の整備・充実	
事 業 名	図書館の活動の推進 [再掲事業 11]	
事業の概要	区民の文化的教養を高め、調査研究や課題解決を支援するとともに生涯を通じて学ぼうとする区民に必要とする資料や情報を収集・提供し、身近な情報拠点として区民の暮らしに寄与する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	台東区立図書館取組方針に基づき、生涯学習に寄与する資料の収集を進める。
	事業実績	所蔵数 6 6 5, 5 6 6 点 (令和 2 年 3 月 3 1 日現在)
	事業の成果	区民ニーズに応えつつ、レファレンス資料や外国人向け資料などの収集・充実を図ったため、身近な情報拠点としての役割を果たすことができた。
	事業の課題	実用書などの最新の情報の提供が必要な既存資料は、区民の学習意欲に応えるため適切な情報更新が必要である。
担当課評価	A	情報更新のための除籍を進めているため、所蔵数は減少傾向にあるが、外国人向け資料などの資料の充実やパスマインダーによるビジネス資料の案内など情報提供方法の充実を図ったため。

【中央図書館】

NO.	5-(1)-①-118	
施 策	①学習施設の整備・充実	
事 業 名	118 学校開放	
事業の概要	区立小中学校の施設(校庭、体育館など)を、学校教育に支障のない範囲で、スポーツ・学習活動など、社会教育その他公共のために開放する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり学校開放を実施する。 学校開放利用人数 延 5 0 0, 0 0 0 人
	事業実績	下記のとおり学校開放を実施 学校開放利用人数 延 3 8 2, 6 5 0 人
	事業の成果	各小中学校施設を開放することで、区民のスポーツや文化活動の機会確保に貢献することができた。
	事業の課題	引き続き事業を安定的かつ継続的に実施していく必要がある。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために学校開放を中止したため。

【庶務課】

【施策の目標 5 生涯学習を推進するシステムを確立する】

【(1) 生涯学習の場の整備】

N0.	5-(1)-②-119	
施 策	②新たな学習課題の把握と学びの体制の充実	
事 業 名	119 生涯学習関連組織とのネットワーク化	
事業の概要	区内の生涯学習関連の情報提供組織や団体などと連携するとともに、生涯学習推進のためのネットワークづくりを進める。また、生涯学習に関する情報について、生涯学習センターの情報交換機能を高めて充実させる。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	生涯学習関連の情報提供組織や団体などとの連携や、生涯学習情報コーナーの情報交換機能の充実を図る。
	事業実績	教育機関や社会教育団体などから情報を収集するとともに、生涯学習センター等において当該情報の提供を行った。
	事業の成果	社会教育団体をガイドブックで紹介するなど、生涯学習のきっかけづくりをするとともに、生涯学習センター等において区内外の生涯学習関連の多くの情報を収集し、提供することができた。
	事業の課題	さらに多くの組織や団体と連携するとともに、広範な情報を収集していく必要がある。
担当課評価	A	生涯学習に関連する情報の収集や提供ができているため。

【生涯学習課】

N0.	5-(1)-②	
施 策	②新たな学習課題の把握と学びの体制の充実	
事 業 名	生涯学習ガイドブックの発行 【再掲事業 61】	
事業の概要	半年毎の講座・イベントの情報提供をする「講座・イベント編」と団体の情報を提供する「団体・サークル編（隔年発行）」をガイドブックとして作成し、区民へ学習情報の提供をする。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりガイドブックを配布する。 年6, 000部
	事業実績	下記のとおり ガイドブックを（「講座・イベント編」）の情報を提供（「団体・サークル編」は非発行年度） 上半期分 1, 500部配布 下半期分 ホームページ掲載
	事業の成果	生涯学習ガイドブックの講座・イベント情報と団体情報について半年ごとに提供することができた。
	事業の課題	より多くのイベント情報を掲載できるよう、幅広く情報収集をしていく必要がある。
担当課評価	A	情報提供を効率的に行うため、上半期に「講座・イベント編」、下半期からホームページによる提供のみとした。

【生涯学習課】

【施策の目標 5 生涯学習を推進するシステムを確立する】

【(2) 学習情報の提供・相談システムの充実】

N0.	5-(2)-①-120	
施 策	①学習相談機能の充実	
事 業 名	120 学習情報コーナーの運営	
事業の概要	生涯学習センター内の学習情報コーナーの充実を図り、生涯学習全般について相談できる窓口としていく。また、I C Tを活用した対応など、更なるサービスの充実について検討を行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	学習情報コーナー内の情報の充実と I C Tを活用した情報提供サービスの充実を図る。
	事業実績	配布物による学習情報の提供と相談員による学習相談の実施
	事業の成果	刊行物の配布と学習相談の実施により、区民に対して生涯学習に関する情報提供等が実施することができた。
	事業の課題	I C Tを活用した学習情報の提供を検討する必要がある。
担当課評価	A	学習情報コーナーにおいて、情報提供・相談を実施できているため。

【生涯学習課】

N0.	5-(2)-②-121	
施 策	②学習情報の提供体制の充実	
事 業 名	121 I C Tを活用した情報提供の充実	
事業の概要	学習情報のデジタル化により、様々な端末から情報へのアクセスができるよう情報提供の効率化を行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	様々な端末から適時・適切な学習情報を得られるよう、情報の整理及び充実を図る。
	事業実績	生涯学習の支援や振興にかかる情報などをパソコンやスマートフォンから適切に取得できるよう、情報の継続的な更新・掲載に努めた。
	事業の成果	様々な端末を通じて情報を適切に取得できることで、区民の学習意欲の向上に資するものとなっている。
	事業の課題	提供する情報の内容について、より一層の充実を図っていく必要がある。
担当課評価	A	生涯学習の支援や振興にかかる情報などをパソコンやスマートフォンから適切に取得できるため。

【生涯学習課】

【施策の目標 5 生涯学習を推進するシステムを確立する】

【(2) 学習情報の提供・相談システムの充実】

N0.	5-(2)-②-122	
施 策	②学習情報の提供体制の充実	
事 業 名	122 ホームページなどを活用した情報発信の拡大	
事業の概要	広報たいとう、台東区公式ホームページ、ケーブルテレビ、ツイッターなどを活用し、生涯学習に関連した情報提供の充実を図っていく。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	様々なメディアを活用して、生涯学習に関する情報の提供を充実していく。
	事業実績	生涯学習に関する講座などの情報を広報たいとう、台東区ホームページ上で提供をした。
	事業の成果	広報たいとうや台東区公式ホームページ上で学習情報の提供を行い、情報を広く周知することができた。
	事業の課題	ツイッター等のSNSをさらに活用し、生涯学習に関する情報を広く提供する必要がある。
担当課評価	A	広報たいとう、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用し、生涯学習関連の情報を広く提供できたため。

【生涯学習課】

N0.	5-(2)-②	
施 策	②学習情報の提供体制の充実	
事 業 名	生涯学習情報紙の発行 【再掲事業 62】	
事業の概要	生涯学習センターや、社会教育センター及び社会教育館の情報を提供するセンターニュース・社教館ニュースを毎月発行する。また、教育委員会で発行する情報紙にも、記事を掲載し情報提供の充実を図る。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり生涯学習情報紙（センターニュース）を発行する。 年24,000部
	事業実績	下記のとおり生涯学習情報紙（センターニュース）を発行 年24,000部
	事業の成果	生涯学習センターにおける事業・イベント等の周知ができた。
	事業の課題	配布先や読者への意見の聴取やアンケートの実施により、より充実した内容に努めていく必要がある。
担当課評価	A	毎月定期的な情報提供ができているため。

【生涯学習課】

【施策の目標 5 生涯学習を推進するシステムを確立する】

【(3) 生涯学習推進体制の整備】

N0.	5-(3)-②-125	
施 策	②生涯学習の推進体制の充実	
事 業 名	125 社会教育委員の会議	
事業の概要	社会教育法に基づき、社会教育委員の会議を定期的で開催し、社会教育に関して様々な協議を行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	社会教育委員の会議を開催し、社会教育行政に有用な調査研究を行う。
	事業実績	平成30年度から令和元年度にかけて、「台東区社会教育行政における家庭教育支援のあり方」というテーマで研究を行った。
	事業の成果	家庭教育支援に関する研究を行い、今後求められる支援について報告書をまとめることができた。
	事業の課題	社会教育という多様なテーマを扱う中、協議すべき内容の優先度合を明確にし、今後も引き続き研究を進めていく必要がある。
担当課評価	A	計画的に会議を実施し、研究を実施しているため。

【生涯学習課】

N0.	5-(3)-②-126	
施 策	②生涯学習の推進体制の充実	
事 業 名	126 生涯学習施策庁内推進委員会	
事業の概要	庁内の生涯学習関係課で、生涯学習に関する事業の情報交換や事業の連携を図り、それぞれの取り組みが一層充実するように推進する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	生涯学習関係課の話し合いを通して、情報交換や事業の連携を図る。
	事業実績	庁内推進委員会は実施しなかったが、別の会議等を通して、情報交換、情報共有を行った。
	事業の成果	定期的な情報交換などを通して、生涯学習関連事業の適切な執行が図られた。
	事業の課題	委員会形式が定着しなかったため、情報交換や事業連携のための別の手法を構築する必要がある。
担当課評価	B	庁内推進委員会を実施しなかったが、情報交換、情報共有を通して、事業の適切な運営が行えているため。

【生涯学習課】

【施策の目標 6 地域力を高める】  
 【(2) 地域課題への取り組みの推進】

N0.	6-(2)-②	
施 策	②地域課題解決のための学習支援	
事 業 名	図書館の活動の推進 [再掲事業 11]	
事業の概要	区民の文化的教養を高め、調査研究や課題解決を支援するとともに生涯を通じて学ぼうとする区民に必要な資料や情報を収集・提供し、身近な情報拠点として区民の暮らしに寄与する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	台東区立図書館取組方針に基づき、生涯学習に寄与する資料の収集を進める。
	事業実績	所蔵数 665,566点(令和2年3月31日現在)
	事業の成果	区民ニーズに応えつつ、レファレンス資料や外国人向け資料などの収集・充実を図ったため、身近な情報拠点としての役割を果たすことができた。
	事業の課題	実用書などの最新の情報の提供が必要な既存資料は、区民の学習意欲に応えるため適切な情報更新が必要である。
担当課評価	A	情報更新のための除籍を進めているため、所蔵数は減少傾向にあるが、外国人向け資料などの資料の充実やパスファインダーによるビジネス資料の案内など情報提供方法の充実を図ったため。

【中央図書館】

N0.	6-(3)-①-145	
施 策	①地域活動の担い手の育成	
事 業 名	145 学習支援ボランティア	
事業の概要	学習支援ボランティアの普及啓発を図り、制度の活用と新たな登録を推進する。また、登録者の知識や技能を区民の学習活動に活用する場を提供していく。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	学習支援ボランティアの新たな登録と活用を推進するため、制度のPR並びにボランティアによる講座等を実施する。
	事業実績	下記のとおり学習支援ボランティア事業を実施 学習支援ボランティア登録数 個人48人、団体4団体 派遣実績 5回
	事業の成果	やまびこ塾や学習支援ボランティア派遣事業により、学習支援ボランティアの活動を継続的に実施できた。
	事業の課題	活動内容について広く周知し、活動の場を広げる必要がある。また、登録数は増加しているが、派遣実績が減少しているため派遣数を増やしていく必要がある。
担当課評価	A	区民の学習活動の場として学習ボランティア事業を安定して実施しているため。

【生涯学習課】

N0.	6-(3)-②-149	
施 策	②活動の場の整備・充実	
事 業 名	149 たいとうやまびこ塾	
事業の概要	学習支援ボランティアの知識や技能を活用して、3回前後の講座を開催し区民の生涯学習のきっかけづくりの機会を提供する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおりたいとうやまびこ塾を実施する。 45回
	事業実績	下記のとおりたいとうやまびこ塾を実施 15講座40回
	事業の成果	新たな講座を取り入れ、学習支援ボランティアの活用を広げることができた。
	事業の課題	やまびこ塾への参加人数にばらつきがあるため、開催時期の検討や参加者への周知が課題である。
担当課評価	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施回数が目標値を下回ったため。

【生涯学習課】

N0.	6-(3)-②	
施 策	②活動の場の整備・充実	
事 業 名	(仮称) 台東区民カレッジの展開[再掲事業 65]	
事業の概要	区などが提供している様々な学習機会を総合的に捉え、(仮称) 台東区民カレッジとして、区民の生涯にわたる学習の機会を提供する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	モデル事業を実施し検証を行うことにより、(仮称) 台東区民カレッジの具体化を図る。
	事業実績	モデル事業の実施
	事業の成果	元年度は東京文化会館と連携して、地域での音楽活動者を対象とした講座を実施し、講座内で区内の高齢者施設で発表会を行った。
	事業の課題	事業を進めるにあたり、事業目的や展開方法など、連携先と綿密に情報共有を図る必要がある。また、参加者が講座終了後も継続して学習に取り組める仕組みの構築が求められる。
担当課評価	A	本格的な事業開始に向けて、計画的に取り組めているため。

【生涯学習課】

## 【施策の目標 6 地域力を高める】

## 【(4) 自主グループの育成】

NO.	6-(4)-①	
施 策	①グループ加入のきっかけづくりとその支援	
事 業 名	社会教育団体活動支援 [再掲事業 17]	
事業の概要	グループ学習などの団体活動を、円滑に進めるための支援を行う。団体の組織的、継続的な活動を支援することで、地域活動の活性化につながることを目的とする。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	下記のとおり社会教育団体の活動を支援する。 社会教育関係団体登録、相談受付、入会希望者への情報提供
	事業実績	下記のとおり社会教育団体の活動を支援 社会教育関係団体（登録数 8 3 6 団体）、相談受付、入会希望者への情報提供
	事業の成果	団体登録、団体からの個別相談等により社会教育関係団体の円滑な活動につなげることができた。
	事業の課題	団体構成員の年齢層が高くなっており、各団体が今後も継続的に円滑な活動を進められるよう、相談対応や団体PRにおいてより丁寧な支援が必要となる。
担当課評価	A	団体活動を円滑に進めるための支援を実施しているため。

【生涯学習課】

NO.	6-(4)-②	
施 策	②自主学习グループ相互の交流促進	
事 業 名	社会教育センター・社会教育館の管理運営 [再掲事業 9]	
事業の概要	区内の社会教育団体などに学習の場所を提供し、その学習活動・組織活動を支援する。また、生涯学習ラーニングスクエア、親と子の教室など様々な講座を開設し、自主グループの結成、区民の生涯学習・文化教養の向上に寄与する。 また、施設を効果的に活用できるような改修を計画的に実施する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	より多くの区民の学習活動・組織活動を支援し、様々な講座を開設することで生涯学習に寄与する。 利用者数 1 3 0, 0 0 0 人
	事業実績	利用者数 1 1 8, 4 1 6 人
	事業の成果	新型コロナウイルス感染防止のため、利用者数は前年度を下回ったが、社会教育センターの照明のLED化により、環境改善を図った。
	事業の課題	施設の老朽化に伴う、計画的な改修が必要である。また、ソーシャルディスタンスに留意しながら貸出しを行いつつも、利用者数の確保に努める必要がある。
担当課評価	B	社会教育センターの照明のLED化により環境改善を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が目標値を下回ったため。

【生涯学習課】

## 【施策の目標 6 地域力を高める】

## 【(4) 自主グループの育成】

N0.	6-(4)-②	
施 策	②自主学习グループ相互の交流促進	
事 業 名	文化・スポーツ連合体との連携・支援 [再掲事業 19]	
事業の概要	社会教育団体協議会の研修会や文化祭実行委員会など社会教育団体連合体の活動を通じて、区民が学びあう場の充実が図れる支援をする。その中で、団体間の活動に関する情報交換やイベントの周知なども行う。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	社会教育団体協議会の加盟団体を対象に、文化祭実行委員会などの開催を支援する。
	事業実績	下記のとおり実施 文化祭実行委員会 4回
	事業の成果	文化祭実行委員会の実施により、団体間の協力・連携が図られ、情報の発信や共有にも寄与した。
	事業の課題	活動を支援しながらも、連合体としての自主性、自立性を引き出すような取り組みも進める必要がある。
担当課評価	A	文化祭実行委員会の開催を支援することができたため。

【生涯学習課、スポーツ振興課】

【施策の目標 6 地域力を高める】  
 【(5) 地域活動コーディネート機能の充実】

N0.	6-(5)-②	
施 策	②人材の活躍の場の整備	
事 業 名	(仮称) 台東区民カレッジの展開 [再掲事業 65]	
事業の概要	区などが提供している様々な学習機会を総合的に捉え、(仮称) 台東区民カレッジとして、区民の生涯にわたる学習の機会を提供する。	
元年度事業評価	目標 (取組内容)	モデル事業を実施し検証を行うことにより、(仮称) 台東区民カレッジの具体化を図る。
	事業実績	モデル事業の実施
	事業の成果	元年度は東京文化会館と連携して、地域での音楽活動者を対象とした講座を実施し、講座内で区内の高齢者施設で発表会を行った。
	事業の課題	事業を進めるにあたり、事業目的や展開方法など、連携先と綿密に情報共有を図る必要がある。また、参加者が講座終了後も継続して学習に取り組める仕組みの構築が求められる。
担当課評価	A	本格的な事業開始に向けて、計画的に取り組めているため。

【生涯学習課】

## 6 学識経験者による意見

### 【施策の目標】1 生涯学習の基礎を培う

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

#### 【全般】

- ・区民の自主的な生涯学習の推進のためには、その基礎を確かに養うことが欠かせないという基本認識に立ち、狙いを明確にしてそれぞれの事業の充実を図ろうとする基本姿勢が把握できた。それぞれの施策の目標や重点を明確にした上で、各担当課が昨年度の取り組みの内容を点検評価し、施策の一層の充実を目指そうとしている。
- ・事業ごとに事業実績をできる限り数値化することでの確かな成果と課題の把握がなされている。新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナウイルス」という)の影響を受けながらも、区の実態に即し、着実に事業を展開して確かな成果を上げていることが把握できた。
- ・次年度に関しても新型コロナウイルスの影響を受ける場合があるものと思われる。そのことを織り込んで、「事業の課題」の内容への対応に留意する必要がある。

#### 【個別事業について】

- ・「1-(1)-①-1幼・小・中PTA対象の家庭教育学級」は、区民の家庭教育に対する意識が多様化していることを認識し、実態のきめ細かい把握に立ち、充実した事業展開を目指すことが重要である。特に、幼稚園、小学校低学年の保護者の家庭教育への認識を確実にすることには、大きな意味がある。昨年度は保護者のニーズに立った家庭教育学級の実施に力を注いでいることは評価できる。着実な事業展開を行い、確かな成果を収めていることが把握できた。
- ・「1-(1)-①-4家庭教育支援者養成」は、子育ての体制づくりの中核に位置する人材養成、地域ぐるみの子育て体制づくりといった面からも大きな意味を持っている。事業の成果に関する記述の中に、「講座の修了生が、子育て中の保護者を支援する活動を多方面で行っている」とあったが、これは本事業の確かな成果を示すものといえる。講座受講者の確保、養成講座の内容の検討、講座修了者の位置づけに工夫を凝らし、これまでの実績を大事にして事業展開をすることが重要である。
- ・「1-(2)-①-10生涯学習センターの管理運営」について、区民の活動の場の確保という点で重要な意味を有する。地道な努力にもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で利用者数が目標に達しなかった。今後も活動自粛の状況はあると思われるので、こうした事態の中で成果を得るために何が必要かを検討して、区民の地域活動、学習活動に向けてできるだけだけの努力を望みたい。
- ・「1-(2)-①-11図書館の活動の推進」は、区民の情報拠点としての役割を果たし、着実な事業の展開がなされたことを把握した。次年度については、学校教育における新学習指導要領に基づく学習展開も視野に入れることが望まれる。
- ・「1-(3)-①-22こども110番の普及」は、子供の安全を守る街づくりという点で意味のある事業である。地域や地域住民に常に変化があるだけに、どのような改善策があるかを検討し、次年度以降の事業の充実に結びつけることが期待される。

## 【施策の目標】2 あらゆる世代の多様な学習を振興する

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

### 【全般】

- ・あらゆる世代の効果的な学びの実現に向けて、事業の目標・重点を明確にした上で取組内容の趣旨に沿って創意を生かしている。多様化する学習ニーズや国際化、情報化についても視野に入れていることが評価される。新型コロナウイルスの影響を大きく受ける中で、様々な努力で施策の充実を目指そうとする姿勢が認められた。
- ・「あらゆる世代」の「多様な学習」に関して、各事業の趣旨を明らかにして、着実に事業を展開するよう努め成果を上げていることが把握できた。取組の目標をできるだけ数値化するようにし、質的な点が改善されるように意を用いている。
- ・新型コロナウイルスの影響など、本年度の点検評価によって明らかになった課題とその克服については、今後の施策の実施の上でも多々参考になる。今後の施策をどう構想し、どう充実を図るか、実績を踏まえて実施に移すことが求められる。

### 【個別事業について】

- ・「2-(2)-②-36生活指導子ども会」は、子供の人間関係、基本的な規範意識づくりにもかかわる側面を持っている。社会問題ともいえる、「いじめ」「不登校」への対応については、学校教育に限定することなく、地域、家庭との連携を考えることが必要である。これらの問題が学校教育の重要な課題になっているだけに、本事業など、子供の心の育成にかかわる諸事業の一層の充実を期待したい。
- ・「2-(2)-②-37放課後子ども広場、38児童館、39こどもクラブ」は、いずれも子供に対する地域ぐるみの健全育成という意義を有している。様々な課題を持つ子供に対する支援ということで、それぞれの事業内容に応じて創意を生かした対応がなされ成果を上げている。今後とも各担当が連携を密にし、情報を共有して一層の充実を図ることを望みたい。
- ・「2-(3)-①-43生涯学習ラーニングスクエア(パソコン講座)」は、区民のニーズに合わせて様々なコースの設定をするなどして、成果を上げている。本事業の内容は、社会の情報化が急速に進む現代社会において重要な意味を持っている。今後については、情報活用の内容が多様化するという実態があるだけに、さらに必要とされる資質、情報活用能力等に検討を加えることの必要を指摘したい。
- ・「2-(4)-①-55シニアライフ応援計画」及び「2-(4)-③-59いきいき台東っ子応援団」は、いずれもシニア世代に焦点を当てている。効果的な講座の開催や、地域の学習活動との交流を通してシニア世代の充実した生活に寄与するものであり、実態に即して適切に事業展開がなされている。シニア世代になると、どうしても活動の範囲や多面的な人的交流が難しくなることが予測されるだけに、これらの事業には大きな意義が認められる。シニア世代で構成される実行委員会が中心となっており、シニア世代への配慮も評価される。今後については、さらに必要とされる事業内容についても検討を加えることを求めたい。

### 【施策の目標】3 伝統・文化を継承・発展させる

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

#### 【全般】

- ・台東区は数多くの歴史的・文化的施設、文化財等を有し、また、産業面でも伝統的な「ものづくりのまち」としての特色を持っている。そうした実態、特色などを的確に把握し、その実態に即してそれぞれの事業の目標・重点を明確にした上で取組内容を点検評価している。その評価結果を生かし、事業内容の一層の充実を目指そうとする姿勢も把握できた。
- ・事業全般に関して、これまでも着実な事業展開が行われてきた。これまでの実績に立ち、これを生かす形で事業の趣旨に沿って着実に事業を展開し、確かな成果を上げていることが把握できた。事業の狙いがよりよく達成されるよう適切に点検評価が進められ、これを生かす形で質的な事業推進を目指している点が評価できる。
- ・現在の学校教育の一つの課題は社会に開かれた教育活動の展開である。その意味から、今後については、学校教育との関連について配慮することが望まれる。学校教育との関わりを大切にした活力ある地域づくりは今後の重要な課題であるので、この成果を生かし一層の充実を期待したい。

#### 【個別事業について】

- ・「3-(1)-①-71文化財講座」は、区民の文化財に対する意識、郷土愛の高揚に留意して、それらが重要な課題であるという認識をもって着実な事業展開をし、確かな成果を収めている。一般的には、地域住民の、地域の伝統・文化への関心が薄れることが懸念されているので、本事業の充実には大きな意味がある。今後については、「3-(1)-①-68 台東区美術展」などについてもいえることであるが、新型コロナウイルスの影響によっては計画通りの講座の開催が難しくなる場合も考えられる。そのような場合は、開催場所、実施の方法などに工夫して、成果を上げることが期待される。
- ・「3-(1)-②-75史跡説明板の整備」は、これまでも台東区の特色を踏まえ着実に整備が進められてきたが、令和元年度についても計画的に事業が進められていることを確認できた。ここには区民の活用とともに、台東区を訪れる人々の関心への働きかけという視点があり、事業の推進のありようを示唆している。これまでの成果の確認とともに今後の整備の内容に検討を加えることを望みたい。
- ・「3-(3)-②-89台東区歴史・文化検定」は、子供の郷土愛に働きかけるという大切な意味を持っている。子供の意識が地域の伝統・文化に向けられることが、台東区に生活することを誇りに思うという意識を育てることに通じる。そうした側面を大切にしながら、テキストの改訂を含み、事業内容が着実に実施に移されたことが把握できた。今後については、学校教育との関連について十分に配慮し、一層の充実を図ることを期待したい。

#### 【施策の目標】4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

##### 【全般】

- ・区民の健康増進のための活動推進と生涯スポーツを支える環境整備という二つの側面を押さえたうえで、着実な事業展開がなされている。それぞれの事業の目標・重点を明確にした上で取組内容の趣旨の把握に立って創意を生かしている点がよい。また、その実績について成果と課題を把握し施策の一層の充実を目指そうとする姿勢が認められた。
- ・事業によっては新型コロナウイルスの影響など円滑な実施を難しくする様々な課題がある中で、事業の目標の実現に向けて様々な努力がなされている。環境整備についても、施設の老朽化への対策にとどまらず、新型コロナウイルスの影響なども織り込んできめ細かな検討がなされている。こうした姿勢は、今後の事業展開の改善充実につながるものと考えられる。このように、各担当課が、事業展開に際して多くの課題に直面したにもかかわらず、それに柔軟に対応し克服していることが把握できた。本年度の点検評価によって明らかになった課題については、この結果を生かして次年度の事業計画を立案し、より効果的なものにすることを期待している。

##### 【個別事業について】

- ・「4-(2)-①-105区民体育祭の開催」は、台風や新型コロナウイルスの影響を受けながらも体育祭事業を実施し、一定の成果を上げたことは評価に値する。区民体育祭は、スポーツの実践の機会であるとともに、スポーツの意義、楽しさを実感する貴重な機会でもあるので、今後とも事業の充実のために創意を生かすことが期待される。事業の課題として「大会運営に関わる後継者の育成が急がれる」という記述があるが、今後区民の高齢化が進むだけに、本事業に限定することなく検討を加え、様々な事業を支える地域の力の育成に努めることが望まれる。
- ・「4-(2)-②-107台東りバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改築及び庭球場など周辺環境の整備」及び「4-(2)-②-108台東りバーサイドスポーツセンター」に関しては、区のスポーツ環境の中心に位置する施設の整備、運用ということで重要な意味を持つが、できるだけ確に実態把握をし、その把握に基づいて適正かつ効果的に事業を展開しようとする基本姿勢が認められた。事業を進めるにあたって、これまでの実績を踏まえるとともに、関係者との協議などを大切にすることの配慮をしている。また、今後予測される課題も織り込むなどに留意していることも評価できる。今後については、区民のスポーツに対するニーズが多様化すると思われるだけに、さらに必要とされる事業内容に検討を加えることの必要を指摘したい。
- ・「4-(2)-②-113スポーツひろば」は、多くの区民にとってスポーツに親しむ底辺を広げるといって意味を有している。様々な課題のある中で、目標の実現に向けて努力されていることが把握できた。令和元年度の経験を生かして、効果的な事業展開に向けて一歩でも前進できるよう努力されることを望みたい。

## 【施策の目標】5 生涯学習を推進するシステムを確立する

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

### 【全般】

- ・生涯学習を効果的に推進するためには、関連する情報の提供や学習の場、推進体制の整備などが欠かせない。本事業の実施に当たっては、台東区の実態、特色などの把握を根底に置き、それぞれの事業の趣旨、目標に沿って着実に事業を展開し、確かな成果を上げていることが認められた。事業によっては新型コロナウイルスによる影響などの困難に直面しているが、それを克服して着実に成果を上げている点を評価したい。
- ・「より多くの区民の学習活動・組織活動を支援し」「区民ニーズに応えつつ」といった取り組みに関する記述から読み取れるように、区民の活動の効果的な推進という基本姿勢が、各事業の根底にあることが把握された。活力ある台東区のためには、生涯学習の推進がこれを支える一つの柱である。この基本姿勢を大切にして、令和元年度の点検評価で把握された成果を踏まえて各事業の一層の充実を期待したい。

### 【個別事業について】

- ・「5-(1)-②-119生涯学習関連組織とのネットワーク化」は、区内外の関連情報の収集を視野に入れて生涯学習推進のネットワークづくりを進めている点を評価したい。生涯学習の内容は多岐にわたる。また活動の進め方も様々である。それらの情報をできるだけ広く収集し、台東区における活動推進という観点から整理して情報提供を行い、事業展開に生かすことが、効果的な事業展開にとって重要になる。
- ・「5-(2)-①-120学習情報コーナーの運営」は、配布物による学習情報の提供と相談員による学習相談の実施を事業実績の内容に据えて事業を進めている点を評価したい。区民の生涯学習に関するニーズは多岐にわたり、様々な疑問がそこにあることが予測される。開かれた相談体制の確立にかかる各事業の取り組みについては、区民の疑問にきめ細かく対応することの意義の理解に立ち、着実な事業展開をすることが大事である。令和元年度の事業の成果を踏まえて、今後については、事業の課題の記述にあるように、ICTの活用など一層の充実を期待したい。
- ・「5-(2)-②-121 ICTを活用した情報提供の充実」及び「5-(2)-②-122ホームページなどを活用した情報発信の拡大」は、着実な事業展開が確認できた。提供体制の充実には、メディアの活用と伝達手段の改善という二つの面があることが確かに押さえられている。令和元年度の事業展開では、広報たいとう、台東区公式ホームページ、ケーブルテレビなどの活用が対象としてとらえられているが、今後については、そのほかにも有効な対象がないかどうか常に検討を加えることが望まれる。またICT活用に関しても、提供する情報の内容、情報の受け手の状況などに配慮して、その活用に関して充実を図ることを求めたい。

## 【施策の目標】6 地域力を高める

尾木 和英(東京女子体育大学名誉教授)

### 【全般】

- ・施策の実施の全体を通じて、地域の課題解決に機能する区民一人ひとりの人間力に働きかけると同時に、個々の人間力と活力ある台東区の実現とを重ねてとらえる積極的な姿勢を把握することができた。それぞれの事業について、施策目標の目指すところを踏まえ、事業の目指すところを明らかにして、着実に事業展開がなされている。
- ・事業によっては当初予測することが難しいと思われる問題の発生など、様々な課題がある中で、運用の努力によって確かな成果を上げていることが把握できた。各事業の目標に掲げられている取り組みの内容はよく吟味されているが、今後については、今一度事業の目指すところ、台東区の実態から見直しを行うことが望まれる。まず、生涯学習のとらえ方について、現在のままで妥当といえるかどうかの吟味が求められよう。進め方については、地域の変化を織り込んでいるかどうかの検討も必要になる。特に具体的な達成目標などについては、それが安易に前年度の踏襲になるようなことのないよう留意されることを求めたい。

### 【個別事業について】

- ・「6-(3)-①-145学習支援ボランティア」は、地域活動の担い手への働きかけという大切な意味を有している。そのことを確かに意識して、制度の周知と講座の実施について着実に事業展開の進められたことを把握することができた。事業展開にかかわる内容についての的確に実態把握をし、その把握に基づいて適正かつ効果的に事業を展開しようとする基本姿勢を認めることができた。今後の見通しに立った時、「6-(3)-②-149たいとうやまびこ塾」や学習支援ボランティアの活動内容や実施方法はこのままでいいかどうか、絶えず見直しをして一層の充実を図ることを望みたい。
- ・「6-(4)-②社会教育センター・社会教育館の管理運営[再掲事業 9]」は、地域活動の担い手の育成にかかわる意義を持つものといえる。生涯学習の推進は地域の関係者、関係団体との連携、支援があってはじめて効果的でありうる。そうした意義の認識に立って、事業展開に際して実態及び必要に応じて様々に工夫されている点は評価できる。
- ・今後については、いくつかの課題について検討を加えることが必要である。まず、新型コロナウイルスの影響をどう抑えるかである。学習の場の提供の可否、講座等の開催の可否、事業を実施に移すとすれば、どのような配慮が必要であるかの検討などが大切になる。次にそのこととも関連して、事業の取り組み内容をどう設定するかについても検討が必要である。そうした点の配慮によって、妥当な事業展開がなされることを求めたい。

## 【施策の目標】1 生涯学習の基礎を養う

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

### 【全般】

- ・施策の方向の欄に記されている「家庭教育」、「社会教育」及び「家庭・学校・地域の連携」は生涯学習の基礎を養うための視点として当を得ている。特に〈家庭・学校・地域の連携〉の背景には、今日の社会において労働力人口の減少が長期間続いているということがあり、活力のある国づくりのためには国を挙げて人を育てることが重要になっているという実状がある。
- ・学校教育は「各学校・園の教育を地域に開く」時代から、さらに一歩進んで「地域と共に将来を担う人を育てる」ことが求められており、地域の教育力が極めて重要になっている。加えて、教職員の働き方改革も重要な要素である。このように考えると、「家庭・学校・地域の連携」は、特に重要な点であるように思われる。
- ・学校・園もこれまで以上に、地域社会に自校・園の教育や経営を開き、地域住民と連帯して園児、児童及び生徒を育てる意識を高める必要がある。

### 【個別事業について】

- ・「1-(1)-①-1 幼・小・中PTA対象の家庭教育学級」及び「1-(1)-①-2 保育園対象及び乳幼児家庭教育学級」について、子育てに悩む保護者及び共働きで十分に子供の教育に手が回らず不安を抱く保護者並びに変化の激しい世の中で家庭教育の在り方に戸惑う家庭など事情は様々である。そういった家庭の教育上の不安や問題を、各 PTA が自主的に家庭教育学級を運営し、講師の話も交えながら考え合うこの事業は家庭教育を支援するいい事業である。事務局としては、講義一辺倒ではなく、出席者参加型の活発な研修会になればいいという思いのようだがそのとおりで、そうなれば一層良くなるであろう。現在は、参加保護者が多いとは言えないので、「1-(1)-①-3 家庭教育情報の提供」で行っている不参加者のための情報提供事業も重要な事業となる。
- ・「1-(2)-①-11 図書館の活動の推進」は、「区民の文化的教養を高め、調査研究や課題解決を支援するとともに…」と、事業の概要にあるように、区民の生涯学習の基礎を養う上で、この事業は極めて重要である。これから生きるための学習は、ツールとしてのICT教育は欠かせないが、知性、情感など、人間性を堅実に育む上では、なお書籍の力が大きいと思う。外国人向けビジネス資料の情報提供など、事業拡充の実績もあり、既存資料の整理と更新などの課題意識も旺盛であると感じる。今後の事業の充実と活性化を期待したい。
- ・「1-(3)-①-21 下町台東の美しい心づくり」は、家庭、地域、学校、関係機関が一体となつて行う児童生徒の健全育成を意図した区民運動であるが、本区だからこそ可能になった事業と言える。担当者評価にもあるように、歴史も重ねて、地区によって活動の濃淡も出だしたようである。社会がグローバル化して、価値観が多様化している今日だから、なお一層価値がある活動だと思う。形骸化することのないように、一度知恵を絞りあっていただきたい。

## 【施策の目標】2 あらゆる世代の多様な学習を振興する

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

### 【全般】

・ニーズに応じて乳幼児から高齢者までを対象として、幅広く事業を展開している。特に、各事業で実際に指導、運営に携わっている主体に区民の有識者が多いことは、高齢期の人々の社会活動の促進や区民が区民を育てるという意味からも意義深いものとする。

### 【個別事業について】

・「2-(2)-①-32 知る・作る・学ぶ講座」は、学校で週5日制が始まった時期に、児童・生徒の自主学習支援を目的として、区民の有識者を指導者の軸に、学校の先生が支援をするという形で始められた事業である。近頃は児童・生徒は休日でも多忙であり、特に中学生の参加者が少ない状況となっている。学校の理解も得て充実を図ってほしい。

・「2-(2)-①-34 青少年教育の推進(少年リーダー研修会)」事業の歴史は長く、大きな実績を残してきた事業である。月例の研修会やその集大成的位置づけの宿泊研修会にも参加させていただいたことがあるが、指導者や運営者の熱意や指導・運営の力の高さに感心した。参加する児童・生徒や保護者の価値観や生活意識も多様になっているが、今後も、指導者研修も重ねながら、学校の理解を得、連携して事業推進をしてほしい。

・「2-(2)-②-39 こどもクラブ」は、放課後に保護者が家庭にいない児童に対して生活の場をつくり、個別又は集団で指導を行って安全と健全育成を図る極めて重要な事業である。家庭の希望通りにいかない場合もあり、待機児童が出ている状況のようである。根気強く説明、説得を願うばかりである。

・「2-(3)-③-51 下谷青年学級」は、区内在住在勤の特別支援を必要とする青年男女を対象にしている学習活動であり、学級生の自主性を重んじて、仲間との交流などを図りながら、実社会に適応できる力を育てている。家庭や学級の教職員をはじめ、関係者の熱意が強く感じられる。支援ボランティアの採用など、今後も充実に努め、区民全体で理解、支援に努めたい事業である。

・「2-(5)-①-63 ICTによる広報活動の充実」について、区民の各年齢層の学習意欲を喚起するためには、学習に関する事業等の広報活動は重要である。その際、多様性があり、急速に変化する現実や、学習する対象者の年齢層の幅広さを勘案すると、ICTによるこの事業は極めて重要になってくる。前項に記載の「2-(5)-①-61 生涯学習ガイドブックの発行」事業や「2-(5)-①-62 生涯学習情報紙の発行」事業と調整及び連携をしながらの事業の充実を期待する。

### 【施策の目標】3 伝統・文化を継承・発展させる

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

#### 【全般】

- ・台東区は、歴史的に価値の高い施設や伝統的な文化や芸術・芸能も多く、区民が直接触れられる恵まれた環境である。有形無形の文化財は地域の財産ともいえる。
- ・担当部署が、その継承と発展の意を持って、区民の学びの機会や場の提供に努めている。一部に広報等に工夫を要する事業があるようだが、事業全体が本区にとって極めて重要な事業であり、充実を期待している。

#### 【個別事業について】

- ・「3-(1)-①-71 文化財講座」について、多様な文化があふれる台東区で、この講座の実績を目にして、参加者の少なさに驚き、もったいなく感じた。事業名にある「文化財」という言葉に、「埋蔵文化財だけ」というイメージがあるのだろうか。芸術文化に触れる講座であり、明るく範囲も幅広く、興味が広がりそうなのだが、担当課が「事業の課題」で書いている広報の改善も大切であろう。講座名も含めて、講座の内容を硬軟幅広く編成することは不可能なのだろうか。
- ・「3-(3)-①-86 台東区映像アーカイブ」事業について、昔の行事や人々の記録映像を発掘し、デジタル化して保存、活用するこの事業への期待と需要は大きいと思われる。ICT を活用した教育が重視される学校でも教材として活用できるのではないか。また、課題にもあるとおり広報の方法等を工夫改善して、区民の活用にも供してほしい。
- ・「3-(3)-②-89 台東区歴史・文化検定」について、台東区の歴史を学ぶことは、日本の歴史を学ぶことにも繋がると言える。テキストを配布して、学んだ成果を歴史文化検定で試すこの事業は、グローバル化している現代での意義は大きいと思われる。先生も挑戦している学校もあるようだが、児童・生徒と先生が一緒に、肩の凝らない学びの雰囲気想像できる(他校にも広がってほしい気はするが。)
- ・「3-(3)-②-90 台東区の民話と伝承遊びの普及」について、区立学校園の園児・児童を対象にして、区内に伝わる民話や伝説を紙芝居にして実際に演じさせたり、昔遊びを行うこの事業は、郷土を理解させ、馴染ませる意味があって、意義がある。幼児や小学校下級生が対象なので、指導や対応に専門性も求められ、出かける園や学校に余分な負担を及ぼさないように留意することもあろう。講師の養成や学校園の連携をさらに密にして事業を進めてほしい。

#### 【施策の目標】4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

##### 【全般】

・施策及び事業展開を、「区民スポーツの活性化による健康の増進」を柱に、そのための「施設設備」、「指導者育成」及び「競技団体の適正な運営」と、構造的に視点を明確にして、バランスよく事業を組み立てて展開している。特に、区民の健康増進については、手薄になりがちな幼少期とシニア世代を重視して事業を組み立てているのもいいと思う。

##### 【個別事業について】

・「4-(2)-①-103 総合型地域スポーツクラブ支援」について、地域におけるスポーツ推進の重要な点は、「総合型地域スポーツクラブ」の理念に示されている「身近な地域で、手近な、多種目、多志向のスポーツに親しむ」という精神であろう。特に、幼少期やシニア世代にとっては大事なことだと思われる。ここでは、この事業の具体的な実績は、会場の提供以外には分からないが、今後を大いに期待し、注目する。

・「4-(2)-① 幼児運動教室[再掲事業 31]」について、人の心身の成長を考え、併せて本区の狭隘で子供たちが伸び伸びと運動することが難しい立地状況を考える時、本事業が極めて重要なことが分かる。幼児期の運動体験の有無は、その後の児童期、青年期の生活習慣や心身の発達に大きな影響を及ぼす。生活習慣では、幼児期に運動経験が頻繁な子は、スポーツを好んで生活に取り入れて楽しみ、それに伴って積極性やコミュニケーション能力が高まる。身体的には、心肺能力や骨形成が順調に伸びることになる。この事業の保護者の信頼性や期待の大きさは、定員を越す応募者がいることで示されている。事業拡充を視野に、一層の事業の充実を期待する。

・「4-(2)-②-112 区外スポーツ施設」について、狭隘で建物が密集している本区では、スポーツ施設を十分に備えるには困難な面がある。この事業のように、区外のスポーツ施設を借り受けて区民の利用に供するのは、止むを得ない方策と考える。担当部署の様々な対応での苦心を思いつつ、機関間の円滑な連携協力を期待する。

・「4-(2)-③-115 パラリンピック出場予定のアスリートへの支援及び連携」については、パラリンピック選手に接したり、講演を聞く度に、その頑張りや明るい表情や言動に胸を熱くする。人間性や人としての逞しさを感じる。しかし、具体的支援は少ないようで、このような事業を実施することは区民の多数が納得するに違いあるまい。

・「4-(2)-③-116 障害者スポーツ体験会」については、前項の記述のように、障害者スポーツには人を感動させる力がある。障害者スポーツを実体験するこの事業では、参加者は競技の難しさに驚き、選手に対して敬意を抱くに違いない。良い事業である。多くの小中学生にも体験してほしい。

## 【施策の目標】5 生涯学習を推進するシステムを確立する

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

### 【全般】

・区民の生涯学習が多様化し、世の中が情報化している現実を考える時、インターネットの活用は、単に情報の取り出しや発信だけではないと考える。インターネットを通して、高度で幅広い学術論等を研究したり、他の研究者、学習者と理論交換して、研究の質を高めることもするだろう。そう考えると、この事業の担当課が、区民の生涯学習を効果的にするために、個人や団体との連携や多様な学習が可能になるようなシステム作りに努めているのは非常にいいことだと思う。

### 【個別事業について】

・「5-(1)-②-119 生涯学習関連組織とのネットワーク化」については、他の教育機関や社会教育団体などと連携することによって、生涯学習に必要な情報を収集し、学習者に情報を提供する実績を上げている。学習者の研究等の質が、幅広く高くなる期待は大きいのだが、連携機関が多くなれば、一方で、情報の質のばらつきが問題になる可能性がある。区民の生涯学習を支援する上で、この事業の意義は大きく、事務局に大いに期待する。

・「5-(2)-(2)-121 ICTを活用した情報提供の充実」については、紙ベースでの情報提供も変わらず必要ではあるが、伝達がスピード化し、情報内容の質が多様化・高度化した今日の社会では、生涯学習の情報提供には、むしろ、ICT 活用によることが普遍的なものになるように思われる。その際、受益者側区民への啓発と研修システムの構築も必要になろう。

・「5-(3)-(2)-126 生涯学習施策庁内推進委員会」については、他機関や団体と交流、連携しての情報交換も必要な時代であるが、まずは庁内での事業情報の交換や連携が根幹、基盤になる。庁内の異なる事業間の交流や相互理解が進めば、庁内一丸化が期待でき、事業効果も上がるだろう。しかし、事業の課題に記されているように、組織人は慣れた手法からは抜け出しがたいものであり、順調に進むまでには紆余曲折もあろう。粘り強く、まず、庁内推進委員会を定着させてほしい。期待して、注視していきたい。

## 【施策の目標】6 地域力を高める

前田 烈(大智学園高等学校顧問)

### 【全般】

・施策の目標である「地域力を高める」の分析に当たり、地域力を高める基本は、区民一人ひとりの生涯にわたる学習活動と、区民相互の結びつきであると発想したのは慧眼だと思った。さらに、「学ぶことで個人の能力と可能性を開花させ、地域課題の解決を実現することで、活力あふれる持続可能な社会としていくことを目指す」とする文言も力強く、この事業への期待は高まる。

・ただ、取り組みについての担当課評価では、目標数値にこだわり過ぎではないかと思った。目標数値は指針で、結果を実際的に考える有力な手立てではあるが、評価方法の一面、一形式であろう。事業の展開や、受益者の活動の状況や、活動後の変容といった内実からの視点も加えた評価があってもいいのではないかと考えた。

### 【個別事業について】

・「6-(3)-①-145 学習支援ボランティア」について、区民の自主学習を適正、活性化するには、それを支援、指導するボランティア組織を編制して事業に派遣することも1つの方法であろう。ボランティア人材の主体は、区の関係者、高齢者が多いものと推察するが、様々な面から勘案すると、派遣先の事業共々に、この事業内容自体が意義あるものと思われる。

・「6-(3)-②-149 たいとうやまびこ塾」については、社会教育センターを主会場に実施している、区民の自由意思によるグループ学習を主体とした自主学習支援事業とは別立ての、区教育委員会の担当課が運営管理する自主学習支援事業であろう。講師は、前項の事業で研修を積んだ学習支援ボランティアも当たるようで、年間を通して15講座開設ということであるが、開設後日が浅いということもあって、参加人数にばらつきがあるようである。今後、開催時期の検討や事業周知など課題もありそうだが、今後の発展が期待される。

・「6-(4)-②社会教育センター・社会教育館の管理運営[再掲事業 9]」については、昨年度の利用者数118,416人が示しているように、区民のグループ学習活動の中核的な場所の1つである。拠点的場所があるということが学習や人の交流を活発にし、その適正な管理運営が優れた事業を生み、発展させる。施設の老朽化が心配されている状況のようであるが、円滑、迅速な改修を願っている。

## 【施策の目標】1 生涯学習の基礎を養う

有村 久春(東京聖栄大学教授)

### 【全般】

- ・本施策の目標の具現化そのものが、次代を自らの意思で生きようとするエネルギーになる。まさに区民一人ひとりが自己実現できる社会の基盤を成すものであり、台東区教育大綱(台東区生涯学習推進プラン(以下「プラン」という)5ページに掲載)で掲げる5つの項目の骨格でもある。その意味では、(1)家庭教育の充実、(2)社会教育の充実及び(3)家庭・学校・地域の連携の3つの施策の方向が順調に実施できていることは大きな成果であり喜びとしたい。
- ・その一方で、区民個々にあっては各事業実施の魅力と果実をうまく享受できない生活実態にある個人もあろう。このことを常に念頭に置いた業績と成果の見方・考え方が重要である。年度終盤(いまも)の新型コロナウイルス事態にあって、事業の具体評価に困惑が生じたであろうことが推測できる。数値には表れにくい区民個々の「学びの安心感」が損なわれたものと思う。現在の生涯学習推進プランの計画期間は令和3年度までとなっていることから、次年度の施策実施ではまずこの実情に立ち止まり、生涯学習の基礎・原点を見つめてほしい。

### 【個別事業について】

- ・「1-(1)家庭教育の充実」については、おおむね的確に展開されている。この充実と安定そして継続が、20~30年後の心豊かな台東区を創る。それゆえ、未来投資的な発想から、家庭教育学級や各講座等をプランニングする「地域リーダー」を区として任命し、その裾野の拡大と地域の温かい人間関係づくりを担保してはどうか。地域人材の開発を積極的に展開してほしい。この展開と成果を本区人口増加の維持に連関させる必要がある(プラン8ページ参照)。
- ・「1-(2)社会教育の充実」について、本区の伝統ある文化と国際的な財産を区民個々が「居ながらにして学び・愉しむ」ことを保障している。他の自治体に類を見ない環境にある。これらの各事業は、その事業内個々では充実完結しているものの、東京国立博物館、国立西洋美術館、東京藝術大学などの他の文化施設とのコラボレーションといった点では課題もあろう。区の環境的特性・有益性を活かした創造的な事業展開を期待する。プラン13ページに掲載している関連施設に区の事業企画を提案することを求めたい。
- ・「1-(3)家庭・学校・地域の連携」について、どの事業も区民の学びや子供の安全確保には不可欠な展開であり、その成果も持続している。ただ、「1-(3)-①-22 こども110番の普及」や「1-(3)-①-23 学校安全ボランティア」については、今日のICT環境および新型コロナウイルス事態にかんがみ、その事業の存在や継続の意義など問い直すチャンスにあろう。アンケート調査や実地調査をもとに、抜本的な改善策を検討してほしい。

## 【施策の目標】2 あらゆる世代の多様な学習を振興する

有村 久春(東京聖栄大学教授)

### 【全般】

- ・人生 100 年時代(いやそれ以上)にあって、区民個々の学びの多様性をどのように高めていくのか。また、そのこと自体をどのように考えるのか。これらの命題にはすべての行政課題が関与しているとしても過言ではない。
- ・人の学びの欲求は、高校・大学までの学校教育で修了するものではない。この認識が、個々の生き方を自律的かつ公益性のあるものにする。行政施策の視点からは、ここでの学習振興の密度の濃さが区民の教養の高さに比例すると考えられよう。そこにある「我がまち台東区に住んでいてうれしい」とする区民感情に学びたい。区民としての自尊心を高めることである。
- ・ここにあるヒントが、プラン 10 ページから 12 ページに掲載している(エ)～(ク)の分析ではないだろうか。それぞれの数値を各事業にどのように反映するのか、その展開実態は区民の自発的学習を促しているのか、満足度はどの程度なのかなどの論点を大切にしたい。例えば、(カ)「生涯学習の場所や形態について」のグラフで学習をする場所や形態に関する問いに対する回答のうち、「図書館・博物館・美術館」18.2%、「自主的な集まりやサークル活動」10.7%の数値をどのように行政評価するのか。これらの数値は高いとは言えないのではないか。台東区の文化・財産を活かし、豊かな区民意識をよりよく醸成しているとは言い難いと思う。

### 【個別事業について】

- ・「2-(2)青少年の活動への支援」の各事業は、地域の子供たちの豊かな生活や自己発見・自己形成に多くの役割を担っている。これらの具体的な体験は、その子自身の健全な生き方に資するとともに、地元地域を愛する心(郷土愛)の涵養に他ならない。この事業規模がどのように拡大・充実するのか、そのキャスティングボードはその主体である子供・青少年自身にある。これからはその主体を「子供リーダー」に移行していく行政体でありたい。とくに「2-(2)-①-34 青少年教育の推進(少年リーダー研修会)」の事業の仕組みを「2-(2)-①-32 知る・作る・学ぶ講座」や「2-(2)-①-33 少年少女発明クラブ」、「2-(2)-①-35 ジュニアオーケストラ・ジュニア合唱団」～「2-(2)-②-39 こどもクラブ」の事業内容と連動させ、事業の整理・統合を検討したい。その議論に青少年の参画を促し具現化を図りたい。
- ・「2-(3)成人の学習支援」の各事業は、区の文化資産と歴史等を学ぶ上で今後も継続発展させたい内容である。ただ、人的に密度の高い活動体験を求めるだけに、新型コロナウイルス事態の推移によっては大幅な事業見直しが不可欠である。より慎重な検討を要請したい。とくに「2-(3)-①-45 郷土資料の記録と整備」や「2-(3)-③-51 下谷青年学級」は貴重な事業の一つである。
- ・「2-(4)高齢期の社会活動促進」及び「2-(5)多様化する区民の新しいニーズへの対応」の各事業について、「2-(4)-①-55 シニアライフ応援計画」、「2-(4)-③-59 いきいき台東っ子応援団」及び「2-(5)-①-63 ICTによる広報活動の充実」の事業内容は、今後より一層の拡充を期待する。次代を担う子供たちの確かな精神を育むうえで大切な事業である。特に 63 の事業は広報活動に終始することなく、どの世代でも ICT の果実を味わう区民の育成をリードする必要がある。他の部局の事業とも連動し、デジタル社会の充実を図りたい。

### 【施策の目標】3 伝統・文化を継承・発展させる

有村 久春(東京聖栄大学教授)

#### 【全般】

- ・本施策は、まさに台東区の「こころ粹」そのものである。この伝統そして文化の存在こそが本区の未来像を創造する。台東区自身の美しさである。国立西洋美術館の世界文化遺産への登録も、この精神がそのベースにあると思う。
- ・今回の点検・評価の対象となっている各事業の実績や成果をどのように表現するのか。そのこと自体を問う意味を大切にしたい。それは、第一にその事業内容を見聞し、その機会に触れる人々の「こころ躍動」にみられよう。次には、それを企画・運営する者のそこに関与する「満ちたるこころ」にみられよう。これらを良し悪しで評価することは意味を成さない。
- ・このような評価観にあって、例えば「3-(1)-①-68 台東区美術展」の事業の成果として「美術への関心を高める機会を提供できた」としたり、「3-(1)-①-71文化財講座」の事業の成果として「・・保存の意識と郷土愛を高めることができた」としたり、「3-(3)-①-87池波正太郎記念文庫」の事業の成果として「池波正太郎作品に対する関心の高さが伺えた」とするのは如何なるエビデンスで語るのか。その事業に出会う機会にあった人々とのインタビューや意見・感想文など、「ありのままの感得」ではないだろうか。例えば、「みているだけで落ち着いた自分になります」「この場を離れたくない気持ちです」「池波先生に会いたくなります」などとする場面や言葉に出会うことであろう。

#### 【個別事業について】

- ・「3-(1)芸術文化の振興」の各事業は、いずれも上述する私的評価観にあって意義深い事業である。その適切な企画等をうれしく思う。それゆえ、実績として示される「期間・回数・入場者数」による表記にこだわることなく、参画者・企画者双方の「こころの表出」を実績とする評価を提案する。この発想が、開催の期間や規模(予算)などを変革する起爆剤となろう。この営みのうちに芸術文化振興の「面白さと愉しき」が存在する。日々居ながらにしてこの文化的な「ぜいたく」を享受する区民性を育みたい。まさに「学びのキャンパス台東」の具現化である。
- ・「3-(3)文化財の保存・活用」の各事業は、いずれも区民個々のマニアックな文化感覚を刺激する。それだけに数値的な実績や成果だけの評価は意味を成さない。「3-(1)芸術文化の振興」の事業と同様に区民個々の事業体験の事実やそこでの感受性そのものを成果としたい。特に「3-(3)-①-86 台東区映像アーカイブ」は区民個々と事業計画・運営が一体化し、YouTube 配信によりその成果を挙げている。その内容を小中学校の授業教材として活用したい。例えば、区の風景やお祭りなどの意義を子供たちが学べるよう指導課や各学校との連携強化を図る。同様に、「3-(3)-①-87池波正太郎記念文庫」～「3-(3)-②-90 台東区の民話と伝承遊びの普及」の事業もより一層の各学校での学びを充実させる。「子供考古学教室」「歴史・文化テキスト」「伝統遊び」などの実績は未来の台東区を創出する。今後もより一層の充実・発展を期待する。

#### 【施策の目標】4 健康的な生活の実現と生涯スポーツを実践する

有村 久春(東京聖栄大学教授)

##### 【全般】

- ・生涯スポーツ活動の充実に向けて、多種の事業運営が展開され、それ相応の実績と成果がみられる。実施目標に対する実績・成果は「4-(2)-①-100 正しいラジオ体操の指導」～「4-(2)-③-117 障害者水泳教室」の各事業において、終盤の新型コロナウイルス事態もあるが、ほぼ適切な評価であると思う。地勢的にはコンパクトな台東区にあって、これだけ多角的な事業企画と実施を可能にするにあたり、担当課の苦勞を察するところである。
- ・言うに及ばず、本施策のスポーツ活動の充実と発展には、区民のニーズの把握が不可欠である。生涯 100 年時代にあつて、区民個々が如何なるスポーツライフを求めているのか？まずは、その実態把握を実施してほしい。アンケート調査やスポーツテスト、施設利用状況調査などによる総合的な把握が必要である。そのデータをエビデンスとして、既存の事業内容(100～117 など)を抜本的に見直し、整理・統合する時期にあるのではないか。
- ・スポーツの特性とその効用には、区民それぞれの趣向と自己目的が多種多様に反映される必要がある。とりわけ年齢層や性別の特性、また個々の生き方などにも配慮した企画構想が重要であろう。その成果は、がん予防の対応など必ずや健康的な区民生活の実現を可能にするものである。

##### 【個別事業について】

- ・「4-(2)生涯スポーツ活動の充実」の各事業について、いくつか抽出して所見を述べたい。
- ・「4-(2)-①-100 正しいラジオ体操の指導」について、従前から一般化しており、区民の大多数が周知している健康体操である。それゆえであろうか、事業評価の各内容が表面的記述に終始し、具体内容が見えにくい(例:実績の「正しいラジオ体操指導を実施する」など)。また、課題についても派遣指導をどのように具体化するのか、その方向性を示す必要があろう。
- ・「4-(2)-①-102 スポーツボランティアを育む」について、スポーツ人口の裾野を拡げる起爆剤になる事業であり、スポーツに関わりたいと考える人とスポーツイベントをマッチさせる有益な事業である。子供の健全育成への影響も大である。活動範囲はどうか、活躍度はどうかなどの事態把握をしたい。そのうえでの確な気運醸成を理解しておきたい。今後どの程度までの登録者数が可能なのか、調査検討を要請したい。
- ・「4-(2)-①-104 台東リバーサイドスポーツセンター 一般開放」について、区民が自らの趣向に応じたスポーツを楽しむために台東リバーサイドスポーツセンターを活用していることがわかった。アンケート調査やインタビュー等により、可能な限りの利用実態を把握したい。区民の安心感のある利用の事実こそが、生涯スポーツを発展・維持する鍵であると思う。

## 【施策の目標】5 生涯学習を推進するシステムを確立する

有村 久春(東京聖栄大学教授)

### 【全般】

- ・生涯学習の推進・充実には、「場所・情報提供・人的体制」の3つのシステムが如何に機能するかが必要である。本施策では、これらが「5-(1)生涯学習の場の整備」～「5-(3)生涯学習推進体制の整備」の各事業の展開の中で、その役割を十分に果たしていると理解できる。
- ・特に、社会教育センター、生涯学習センター、図書館の3施設は個々の特性を生かし区民の学びの保障に資していると思う。とりわけ各施設における自主グループの結成や研修活動の活性化、レファレンス資料の活用など区民の学びが具体的に見えるカタチとなることが重要である。
- ・これら一般論的な学びの成果といわれるものは、その利用度の実績等で示される数値(例:「5-(1)-①生涯学習センターの管理運営[再掲事業10]」における、生涯学習センターの利用者数 355,603 人)などに反映されているであろうか。数値的な指標だけではない質的な実績評価の理解も考えたい。例えば、自主グループの成果発表、研修活動からの学びなどである。求められる知識創造社会の実現に向けて、区民の「知の拠点」としての役割を期待したい。
- ・また、学校開放の場も区民個々の生き方や日々の学びを豊かにする事業である。区民のタテ・ヨコの間関係の形成(例:知人を増やす、趣味の共有)や多様化した家庭・地域社会の生き方環境の変化(例:新たなコミュニティの創出)などに資するものである。そして、区民だれもが求める日々の安心・安全な生活づくりのためにもその機能性を発揮していくものと思う。

### 【個別事業について】

- ・情報提供システムの融合(「5-(1)-②-119生涯学習関連組織とのネットワーク化」～「5-(2)-②-122 ホームページなどを活用した情報発信の拡大」)について、次代の生涯学習の理念を具現化するうえで、これらの事業内容の有機的な整理統合が求められる。区民が一拠点に集う発想の事業運営から、区民個々がネットシステムの活用により、相互に結び合う事業創造への転換である。そのためには台東区全体のデジタル化の対応策との連動が不可欠である。そのシステムの具現化にこそ、その利便性と恩恵を区民個々が実感することになろう。いまや区民の意識は、行政の現実認識を超えていよう。区民の自主的なネットワーク形成とその多様な活用に行政対応が学ぶ必要がある。
- ・「5-(3)-②-125社会教育委員の会議」について、例えば、家庭教育支援の在り方の研究がどのように活用されているのか、そのアウトプットの事態を明らかにする必要がある。本会議内での閉じられた研究に終始しているのであればもったいない。調査研究の活用と改善の具体策が重要である。
- ・「5-(3)-②-126生涯学習施策庁内推進委員会」について、関連する担当課相互が協働する意味は大である。この人的システムが核になり、区民の中にその理念を実現していくプランナーや実践リーダーの育成に資することを期待する。その支援手法として、「マニュアルブック」の作成等が有効ではないか。

## 【施策の目標】6 地域力を高める

有村 久春(東京聖栄大学教授)

### 【全般】

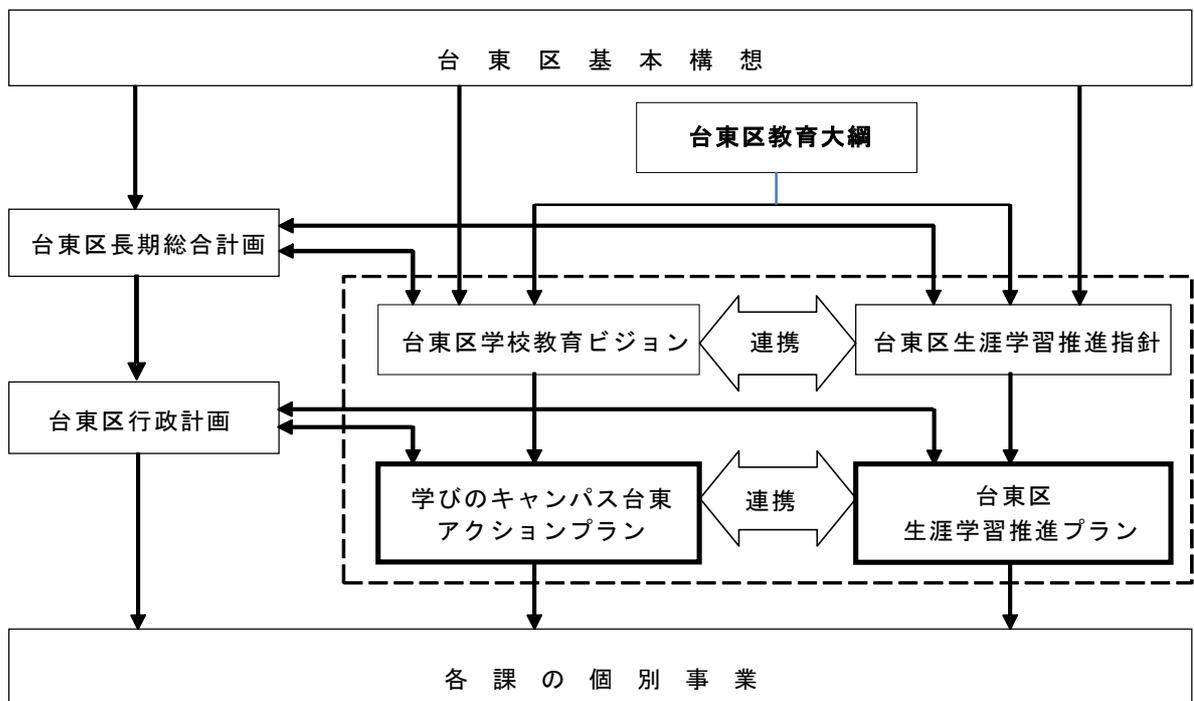
- ・本施策で実施の図書館活動や学習支援ボランティア、やまびこ塾、区民カレッジ、社会教育団体活動支援などはその活性化に地域のマンパワーとその英知をベースにする。それゆえ、その各事業の成果とりわけその事業参画への動機と学びの喜びが、次なる活動のアイデアを創出するものである。
- ・また、区民個々の眼から理解すると、地域の実情に根差した事業展開を求めている。数値的な実績からみると、もう少し高いレベルにあってもよいのではないかとも考えたい。例えば、学習支援ボランティアの登録者数 48 人、4団体、派遣回数5回、やまびこ塾の実施講座数 15 講座、40 回などは、年間を通した実績から考えてどのように評価できるのか。参画者の意向や満足度などを「いかにうまく引き出しているのか」などの問いのもと、客観的かつ利用者視点から区民の人間性と知恵の活かし方そのものを評価する必要がある。いまある担当課の「事業を安定して実施している」などの表面的な評価でよいのか。
- ・台東区では、下町の人情文化と近代的な国際文化がハイブリッドな営みをしていると思う。他の市勢に類を見ない伝統性と文化性のある「まちの漂い」が、内外を問わず多くの人をこのところを引き付けている。このような本区の地域の特性(とくに人間性)を引き出し、それを活かす事業運営の展開を期待したい。この理解が、地域資源の掘り起こしと新機軸の事業開発に資していくと思う。「地域力が未来力を創る」と表現できるのではないか。

### 【個別事業について】

- ・「6-(3)-①-145学習支援ボランティア」について、本事業の充実が「施策の目標 6 地域力を高める」の全体の中核となろう。登録者をどのように獲得していくのか、その実績こそが中核たる意味をもつ。その検証がほしい。人が生き、人が活躍できることが地域資源そのものある。それゆえ、例えばその人数的な拡大方法や具体的な活動内容の創出、ケースによるPR実績、アンケートやインタビュー等の活用など視点から分析・検討を行うことを求めたい。
- ・「6-(5)-②(仮称)台東区民カレッジの展開[再掲事業 65]」について、事業の実施状況を的確に検証し、是非ともこの事業の具現化を図ってほしい。とりわけ東京文化会館との協働が地域力向上として意義ある実績である。その事業の継続と発展は、いうまでもなく区民個々の学習力と人間力を高めるエネルギーになる。
- ・「6-(4)-②社会教育センター・社会教育館の管理運営[再掲事業 9]」について、これらの評価は、担当者による「自己評価」によることが多く、ある種の閉鎖性を伴う。客観的な評価を可能にするために、どのような改善・改革の策があるのか、多様な視点から「見える化」のための検討をお願いしたい。

## 7 参考資料

### ○ 教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧



※ [ ] は「教育振興のための施策に関する基本的な計画」

「台東区学校教育ビジョン」、「台東区生涯学習推進指針」、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「台東区生涯学習推進プラン」は、教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、台東区の「教育振興のための施策に関する基本的な計画」として位置づけられています。

## 台東区教育大綱

台東区は、上野、浅草、谷中、隅田川など歴史と伝統に恵まれた地域を擁し、情緒ある個性豊かな文化を育んできたまちです。日々のにぎわいある暮らしの中で、子供からお年寄りまで様々な世代が助け合い、心意気と人情で支え合いながら希望と活力にあふれた暮らしを続けています。

今、本区では、こうしたかけがえのない財産を活かし、「教育はひとづくり」の観点から、台東区のまち全体を人が成長するための環境「学びのキャンパス」としてとらえ、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、将来の台東区を担うひとづくりを推進しています。

今後も、この施策をさらに充実させ、地域に支えられたひとづくりが、世界に輝く台東区を築く人材を育むとともに、平和で、多様な人々が活躍できる魅力あるまちづくりへと結びつくよう、次の項目に取り組みます。

### ●温故創新とこころざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、こころざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとづくりを進めます。

### ●自己実現と支え合い

区民が生涯を通じて自己実現に努め、自他を尊重し共に支え合い、変化が大きい社会を生き抜く力を培えるよう支援します。

### ●教育に対する信頼と尊敬

教育に携わる教師・保育士の資質向上をたゆまず図り、子供たちや保護者、地域から、より信頼され尊敬される人材を育成します。

### ●心の豊かさと学びの環境づくり

区民一人ひとりが心豊かに生涯を送れるよう、いつでも、どこでも、誰もが、ライフステージに応じて学べる環境を整備します。

### ●絆と地域力

家庭や地域社会の絆を大切にし、活力あるコミュニティの形成に努め、地域力を高めます。

令和元年5月8日

台東区長 服部 征夫

## 《教育目標》

台東区教育委員会は、子供たちが心身ともに健康で、人権尊重の精神を基調として人間性豊かに未来を創造する人材に成長することを願い、

- 互いの人格や多様性を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りをもち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人

の育成に向けた教育を充実する。

また、だれもが生涯にわたり自己実現に生きがいを見出し、学びを継続し、心豊かに人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を図る。

そして、あらゆる世代が豊かな人間性を養い、心身ともに健やかに成長することができる多様な機会を創出する。

## 《基本方針》

台東区教育委員会は、「教育目標」達成のため、以下の「基本方針」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

### 【基本方針1 人権尊重の精神の育成】

幼児・児童・生徒が人権尊重の精神にもとづき、生命を尊び、自他を尊重する心や社会の基本的ルールを身に付け、社会の形成者としてよりよく成長できるよう、家庭・学校(園)・地域社会・関係機関が、それぞれの役割と責任を果たし、緊密な連携のもとに人権教育を推進する。

### 【基本方針2 学校教育の充実】

未来を創造する幼児・児童・生徒が、たくましく生き抜くことができるよう、健康の増進と体力の向上を図るとともに、基礎・基本を確実に定着させ、自ら学ぶ意欲や態度、思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を育成する。また、集団生活の中で、正義と責任、規律を重んじる態度や社会性を涵養するとともに、個性と創造力を伸ばすことを通して、「生きる力」の基礎を培う学校教育を充実する。

生涯にわたる人格形成の基礎を培うために重要な幼児教育及び学校教育において公教育とともに重要な役割を果たしている私立学校教育については、その振興に努める。

### 【基本方針3 生涯学習の推進】

区民が生きがいと地域社会に対する愛着をもって生活することのできる生涯学習社会を確立するため、歴史や文化芸術、スポーツ等、多様な学習や活動の機会の提供と質の充実に努める。また、関係団体の自主的な活動の場等の条件整備を一層図り、生涯学習を推進する。

### 【基本方針4 区民の教育参加の推進】

家庭・学校(園)・地域社会のすべてを人が生涯にわたって学ぶための環境とし、すべての区民が連携・協働して、共に育ちあう地域社会を形成できるよう、区民の教育参加を推進する。

令和2年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

報 告 書

令和2年9月発行

編集・発行 台東区教育委員会

〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6

電話 03-5246-1402 / FAX 03-5246-1409

メールアドレス : ed-shomu.lqt@city.taito.tokyo.jp